

オランダ

欧州で最も魅力的、
革新的なバイオ医薬品環境



Health~Holland
SHARED CHALLENGES, SMART SOLUTIONS

オランダ

欧州で最も魅力的、革新的なバイオ医薬品環境



2

目次

序文	5	2 オランダ	31
エリック・ウィーブス (Eric Wiebes)		戦略的立地	34
オランダ経済・気候政策大臣		優れたインフラ	36
概要	6	オランダでの生活	41
数字で見るオランダ	7	競争力のある経済	51
		起業家精神	53
		活発なセクター	54
1 バイオ医薬品セクター	9		
より健康な世界に向けた取り組み	11	3 業界の環境	59
官民連携の力	14	国際的なビジネス環境	60
国際的な医療イニシアティブ	16	競争力のある税制	61
魅力的なバイオ医薬品環境	17	研究開発のためのインセンティブ	63
オランダに進出した企業	18	革新志向のスキーム	64
医薬品開発	22	持続可能性志向のスキーム	66
臨床研究	23	さらなる財政支援	68
知的財産	25	人的資本	71
レギュラトリーサイエンスとイノベーション	26		
総売上高と投資額	27	インベスト・イン・オランダ・ネットワーク	80
輸出と輸入	28	奥付	81



序文

欧州医薬品庁の新しい拠点、オランダへようこそ。

世界レベルの研究機関、高い教育を受けた労働力、優れた医療保険制度、イノベーションをサポートする政府、さらに欧州の中心的位置により、オランダは欧州の研究開発イノベーションの最高の拠点として、また、バイオ医薬品事業運営の理想的な場所といえます。

オランダ経済・気候政策省は、オランダのイノベーション、起業家精神を誇りとして持続可能性に努めつつ、わが国の国際競争力強化のための努力を重ねています。ライフサイエンス & ヘルスは本省が積極的に魅力的な事業環境の創造に取り組み、研究開発のコラボレーションを促進し、企業がイノベーションを成長させるための最適な条件を提供する優先的なトップセクターの1つです。

イノベーション、起業家精神、パートナーシップはオランダ人にとっての第2の天性です。それは何世紀にも亘るオランダ人の水との闘いに関係しています。有名なオランダの堤防や協力的な考え方のように、革新的でスマートなソリューションを生み出してきた生き方なのです。

わが国は、欧州の主要な表玄関の一つです。一流のインフラのおかげで、私たちは欧州における5億人の消費者にすばらしく効率的なネットワークを提供しています。オランダの世界レベルの空港、トップレベルの港湾と高速道路、鉄道とブロードバンドネットワークはほかのどの国にも引けをとりません。

私たちは特に、医薬品セクターに誇りをもっています。このセクターはオランダ経済にとって重要な役割を担っており、新しい才能を育てる場として機能しています。ヤンセン、アストラゼネカ、Synthonなどの主要な製薬会社は、すでにオランダ国内で研究開発活動を行っています。アムジェン、テバ、MSDを含む他の製薬会社は、オランダの戦略的立地を活かした流通を行っています。また、オランダはガラパゴス、ジェンマブ、ファーミング、ユニキュアなど、多くの将来有望なスタートアップやスケールアップ企業にとっての拠点にもなっています。

2019年3月の欧州医薬品庁（EMA）がアムステルダムに移転したことにより、バイオ医薬品セクターが強化され、オランダは世界的な勢力圏に確固たる地位を築くことになるでしょう。同時に、バイオ医薬品会社とサービス提供者には大きな機会が与えられることになるでしょう。本省は、オランダのバイオ医薬品セクターを強化し、欧州で最も魅力的で革新的なバイオ医薬品業界の環境を育むため、PharmInvestHollandにおいて様々な組織と協力してきました。



オランダが貴社に貢献できることをすべて網羅した本書をこうしてお届けできることをうれしく思います。貴社の医薬品運用の拠点としてオランダをご検討いただきますよう、よろしく願いいたします。

エリック・ウィーブス (Eric Wiebes)
オランダ経済・気候政策大臣

概要

オランダ — 欧州で最も魅力的、革新的なバイオ医薬品環境

他に類を見ないバイオ医薬品会社のクラスター、世界レベルの大学、そして科学、産業、政府をつなぐ歴史ある戦略的なパートナーシップにより、オランダは欧州におけるバイオ医薬品イノベーションに最も適した場所です。多くのパイオニア的企業がすでにオランダで創業しています。EMA もアムステルダムへの移転を決定しました。この事実は世界中のバイオ医薬品企業にとってオランダが理想的な拠点であることを裏付けるものです。

貴社にとって理想的なロケーション

オランダは生活や事業の拠点として魅力的な場所をもつ豊かに繁栄している国です。地理的半径は約 193km ほどですが、EU 第 6 位の経済、国際的貿易国、そしてフォーブスではビジネスのしやすさ世界 3 位にランキングされているように、オランダは競争力のある国際的なビジネス環境を誇っています。

欧州 3 大経済国（ドイツ、イギリス、フランス）に隣接するオランダの戦略的な立地は、欧州への理想的な表玄関となっています。優れたインフラは、欧州市場への速く容易なアクセスを保証し、世界へもアクセスしやすい環境です。また、オランダは優れた情報技術インフラを持つデータと IT のハブでもあります。さらに、「世界幸福度レポート」では地球上で最も幸せな場所の 6 位にランキングされており、オランダは居住地として魅力的な場所であることを示しています。

魅力的な産業環境

オランダはイノベーションのために魅力的な事業環境を提供しています。オランダには、競争力があり安定した税制、研究開発をサポートするための魅力的なインセンティブ、優れた研究・教育機関があります。わが国は高い教育水準、多言語、活発な労働力の面でも高く評価されています。

バイオ医薬品エコシステムの集積地

オランダはライフサイエンス & ヘルスのクラスターが最も集積した国の 1 つであり、420 のバイオ医薬品企業を含む 2,900 を超える革新的な研究開発を行うライフサイエンス企業が集まっています。65,000 人以上がこれらの企業で働いています。オランダの科学研究は国際的に高く評価されています。オランダの大学研究、大学医療センターの質の高さ、論文の引用数の多さ、および大学の国際ランキングの高さがそれを示しています。オランダには官民協力において豊かな伝統があり、政府主導の複数のプログラムがさらにそれらを活気づけています。政府はこれらの投資をサポートすることにより、官民研究開発パートナーシップにおける民間投資を積極的に促進しています。

最も革新的なバイオ医薬品環境

世界で最も魅力的で革新的なバイオ医薬品環境を確立するため、オランダのバイオ医薬品セクターにおける官民のパートナーが一体となりました。私たちは、患者のための優れた研究開発環境をさらに改善していきます。私たちとともにこの目標を実現させましょう。ぜひオランダに来ていただき、このセクターの更なる発展を共に成功させましょう。

本書がオランダでビジネスを行うことの利点を知っていただければ幸いです。

数字で見るオランダ

バイオ医薬品セクター



オランダがさらに提供できることは？





バイオ医薬品セクター

バイオ医薬品セクター

オランダはバイオ医薬品業界における最高のビジネス拠点を提供します。活発で盛んなオランダのバイオ医薬品セクターは、優れたハブとクラスターが一流の物流インフラ、デジタルインフラとリンクしていることが特徴です。420社のバイオ医薬品会社を含む2,900社の革新的なライフサイエンス企業、および欧州医薬品庁（2019年）の本拠地として、オランダには世界のライフサイエンス&ヘルスクラスターが集約しています。

10

オランダのように人口密度が高い河川デルタ地帯で暮らしていると、必然的に、水に対するオランダの賢明で効果的な防御策として示されるようなコラボレーションの文化が生まれます。GDPの3分の1が海面下で生み出されるオランダの高い経済競争力は、何世紀にもかけて培った相互作用の価値、信頼、そして高い機能性を持つ強固なシステム作りのビジョンから学んできたものです。この協働と合意の性質は、政府を含むオランダ社会のあらゆる面で間違いなく連携という形で見てとることができます。

政府、産業そして人々の間に高いレベルの相互依存関係があり、それらはデルタ地帯の仕事と生活を結びつける物理的およびデジタル的なインフラによる複雑なマトリックスによってサポートされています。このことは、企業、研究機関、政府が一

体となって取り組み、知識を共有し、ソリューションを生み、価値ある相乗効果を達成させる能力と意思に表れています。

イノベーションの伝統

世界経済フォーラムの2017 - 2018年「グローバル連携性指標」では、オランダが経済競争力で世界第4位、EUでは第1位にランク付けされました。このことはオランダがビジネスに優れたロケーションとして企業の移転、成長に適した環境を提供していることを示しています。こうしたイノベーションの精神は、顕微鏡、心電図、人工腎臓、心肺装置、人口心臓、赤血球の解明、微生物学における画期的な進歩のような何世紀も亘る世界の健康と幸福に影響を与えてきた科学的革新、発明、発見によって培われてきました。

欧州の中心に位置し、世界レベルの物理的インフラとデジタルインフラ、強固なサービスセクターを持つオランダは、ライフサイエンス&ヘルスの分野で世界またはヨーロッパでの運営を確立するための理想的な場所です。

オランダに拠点を置くことを選択する企業は、強い経済と安定した政府、スキルやモチベーションがあり、多言語を話す労働力の利用、モチベーションを刺激される街、手ごろなコストで実現する質の高い生活を手にすることができます。

結びつきの強いコミュニティ

その結果、オランダが世界で最も集中した、効率的で結びつきの強いライフサイエンス&ヘルスクラスターの一拠点であることは驚くべきことではありません。



より健康な世界に向けた取り組み

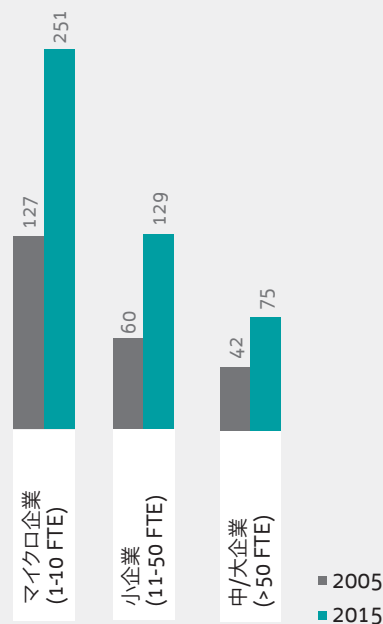
1590年代にオランダ人のハンスとサハリアス・ヤンセンが最初に顕微鏡を発明したとき、ライフサイエンス&ヘルス分野で世界をリードするオランダの将来の役割に強固な基礎を築きました。先駆的科学家たちが次々と彼らの後を追ひ、今日までの数世紀にわたり、医学の限界を押し上げ続けました。

ハイレベルな研究開発

2,900社の革新的なライフサイエンス研究開発企業に約34,000人が従事しているオランダのライフサイエンス&ヘルス・セクターは、がん研究、循環器系、感染症、神経変性疾患、臨床研究、予防医学の画像処理、医療制度などの分野

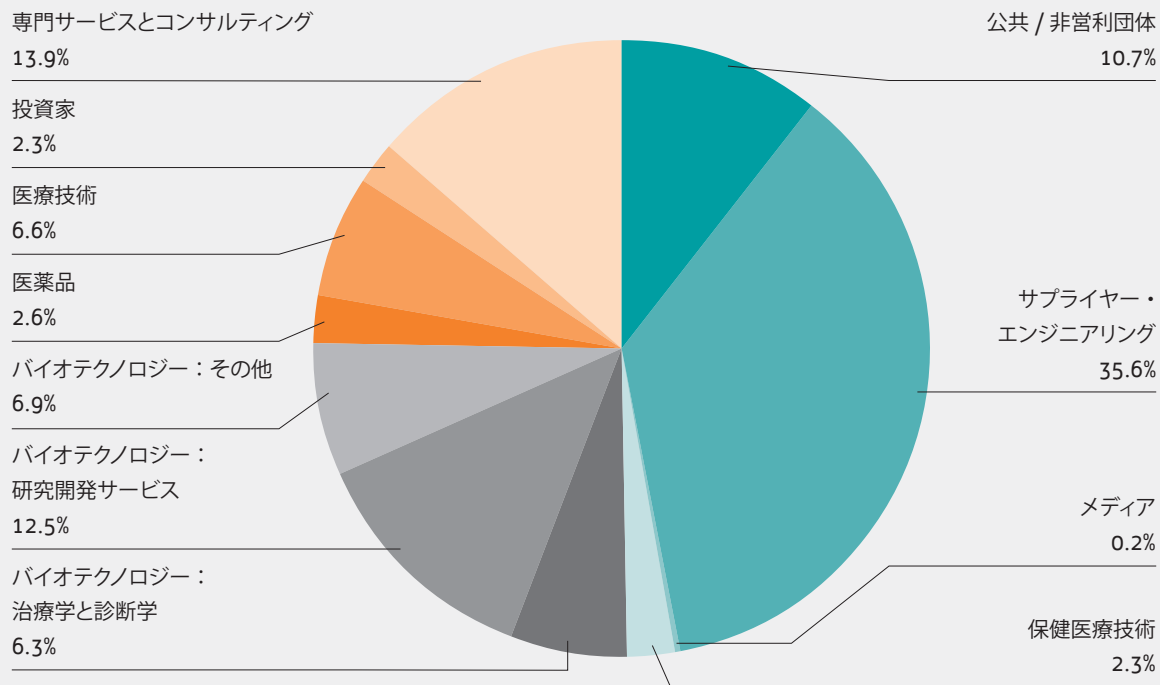
におけるハイレベルな研究開発成果と専門知識が特徴です。過去10年間でライフサイエンスの分野で活躍する企業数は2倍以上に増加し、オランダでは現在、世界で最も密度の高いレベルのライフサイエンス&ヘルス活動が行われています。

Life Sciences companies in 2005 and 2015



出典：HollandBIO, Life Sciences 2030

Companies per sector



出典：Dutch Life Science Database, 2018



ライデン・バイオサイエンスパーク

ライデン・バイオサイエンスパークは、バイオテクノロジーと医薬品ビジネスが成長し、繁栄するのに優れたロケーションです。この活発で急速に成長しているハブは、欧州のサイエンスパークで5位以内に入り、現在は18,000人を雇用する195の団体の拠点です。

106社のバイオメディカル企業、何十もの革新的なバイオサイエンスのスタートアップ、複数の研究機関、教育機関、医療組織を擁するライデン・バイオサイエンスパークは、連携と学術交流に豊かな環境を与えており、重要なグローバル研究開発クラスターです。

活発なエコシステム

オランダで急増するライフサイエンス&ヘルス・セクターに貢献している重要な成功要素の1つは、全国に広がる多くの専門サイエンスパークが形成する盛んなコミュニティーです。それぞれのサイエンスパークは活発なエコシステムであり、中小企業や大企業、起業家、大学、大学医療センターで構成されるクラスターの拠点となってい

ます。各パークの管理団体は地域のビジネスを支援し、ネットワークづくりや連携を促進しています。これにより、高いレベルの相互交流や連携が絶え間なく行われ、ライフサイエンス&ヘルス分野における新規および緊急の要件に対する共同のソリューション開発に人々が協力して取り組むことができます。多くのクラスターは互いに距離が近く(車でおおよそ2.5時間)、オランダの平坦な地形

と優れた道路・鉄道網により、パートナーとの距離を感じることはありません。

オランダにあるサイエンスパークのいくつかの例を以下に挙げます。



ピボット・パーク

2012年に設立したピボット・パークは比較的新しい取り組みであり、医薬品の研究開発に携わるスタートアップ企業、スケールアップ企業、委託研究、委託管理組織、サービス提供者を含め、現在は約50社の企業の拠点となっています。しかしながら、この場所での薬品開発は約100年前から始まっていたものです。この施設は、1923年に創業したオルガノンという製薬会社の旧拠点であるオスという都市に位置しています。

オルガノンは、現代医療に重要な貢献をしました。ピボット・パークはその優れた遺産の地に建設され、スタートアップが新しく革新的な医療開発により繁栄、成長し、世界の健康に貢献する一助となる突出した医薬品研究開発インフラを提供しています。

ピボット・パークの取り組みは、オスの自治体であるノールト・ブラバント州、経済・気候政策省、保健・福祉・スポーツ省、ブラバント州開発公社と連携し、製薬会社であるMSDが先頭に立って進めています。

「オランダは、新しい製薬会社をはぐくむ理想的な環境です。ライデン・バイオサイエンスパークは、新薬の発見、開発、製造で活躍する 100 社以上の拠点です。分子からヒトに至るまで、新たな研究成果で知識を送り込む近隣の学術機関（ライデン薬物研究学術センター、ライデン大学医療センター、ヒト薬物研究センター）とともに取り組み、また十分研修を受けた意欲のある若い科学者を継続的に輩出することで、まさに革新的なエコシステムを代表しています。」

ダウエ・D. ブライマー (Douwe D. Breimer) ライデン大学薬理学教授、旧学長



ライデン・バイオサイエンスパーク

「エボラ出血熱、HIV、AMR バクテリアなど、地球規模で懸念される病原体のワクチン開発には、パートナーシップが不可欠です。オランダでは、ヤンセン・ワクチンが多くの高位学術機関と連携することができ、当社はバイオテクノロジーの起業家の養成地です。このことが、私たちがこの分野のリーダーとしての地位を堅持できる協力の風土をつくっています。」

ヨハン・ファン・ホーフ (Johan van Hoof) ヤンセン社 ワクチン R&D グローバル会長

官民連携の力

既存の枠組みにとらわれない思考、率直さ、協力と知見の交換をいとわない精神は、オランダ人が官民研究、「オープンイノベーション」においてトップクラスの地位を確立できた重要な特徴です。オランダ人の考え方：「大切なのは、あなたのためにしていることではなく、あなたと共にしていること」このことは、企業、NGO、学術機関、政府にとっての確固とした基礎となるものです。その基礎の上に、いわゆる「四重螺旋」の考え方、具体的なガイドライン、一般政策、目標を設定するためにつくられる定型化された構造が組み込まれます。

実用的なソリューション

オランダの官民連携 (PPP) は世界中から、特に腫瘍学、医療技術、バイオバンク、ワクチンの分野で高く評価されています。オランダを例とする PPP Genomics Initiative、CTMM と TI Pharma (両社とも Lygature に合併) は国際基準を設定しました。医療チェーン全般で、ベンチから患者に至るまで、実用的で包括的なソリューションにつながる強い他分野協同的な考え方が特徴です。

授権の仕組み

現在オランダには様々な形式や規模の約 200 の官民連携（PPP）があり、連携して社会における多くの医療課題に対する答えを探しています。これらの多様な連携により、資金だけでなく、様々な参加者から持ち寄られた知識と専門技術を共有することができます。



Oncode は新しく独立した世界レベルの革新的機関で、共通戦略の下、腫瘍学の基礎研究分野（基本の分子レベルでがんがどのように作用しているかに関する研究）を専門とするオランダで最も優秀な科学者を 500 人以上結集させています。

"がんを打ち負かし、命に影響を与える"

Oncode は知識と経験を融合し、患者に有益となり得る科学的発見を特定して助長します。同機関は、そのような発見から導かれる技術移転、臨床研究、実用化に向けた道を切り開くための一助となります。

www.oncode.nl

これは複雑な疾患のための医薬品の共同開発機会を生むため、バイオ医薬品セクターにおいて重要です。PPP はアルツハイマー病、薬剤耐性、がんなどの破壊性疾患の治療を促進するため、多くの場合、医薬品やワクチンのより速やかな開発を可能にします。



Health-RI は、官民連携で既存のオランダのインフラプログラムを結びつけます。Health-RI は、オランダの個人向け医薬品とヘルスリサーチを支援するため、最先端のインフラを構築します。国のインフラは、共有サービスを提供し、データ、サンプル、画像の最適な交換と再利用を可能にし、研究インフラ関連分野の声を集約するものとして機能することでその効率化を図っています。

オーダーメイド医療とヘルスリサーチを最適に促進することにより、Health-RI はオーダーメイド医療とヘルスソリューションの開発を加速させ、研究者、患者、国民に対する大きな価値を生み出します。

www.health-ri.nl

オランダのライフサイエンス & ヘルス分野における PPP の最近の例を以下にいくつか挙げます。



RegMed XB (Regenerative Medicine Crossing Borders、国境のない再生医療) は、一般的な慢性疾患の治療に再生医療戦略を使用するバーチャルの機関です。これは、政府、医療基金、医師、科学者、企業によるフランダーズとオランダの官民パートナーシップによって構成されています。フェーズ 1 では、1 型糖尿病、腎不全、変形性関節症の患者の治療にフォーカスされた熱心な研究が行われています。将来的にこのような研究はその他の疾患にもフォーカスされていきます。

"ケアよりも治療"

再生医療は、現在、慢性疾患に悩む多くの患者を治療し、健康を取り戻し、オランダとその周辺に住む何百万人もの生活を改善させ、同時に生涯にわたる高額な医療プロセスを防ぐという役割を秘めています。

www.regmedxb.com

国際的な医療イニシアティブ

オランダの活動的なライフサイエンス&ヘルス・セクターには、世界中の健康と幸福に大きく貢献する強い知識ベースと革新的な企業が集まっています。ライフサイエンス&ヘルス・セクターにおける国際研究は、オランダのヘルスリサーチプログラムの発展に有益で、国境を越えた研究領域を延長、拡大しています。Horizon 2020 は予算 800 億ユーロの欧州全域で実施される研究革新誘発プログラムで、欧州で最も成功した健康に関する取り組みの 1 つです。オランダはこのプログラムに非常に深く関わっており、オランダ人参加者は、Horizon 2020 ヘルスリサーチプログラムの取り組みの 49% に及びます。

オランダの SME と科学機関は、「革新的医薬品イニシアティブ」が進めるプロジェクトへも参画しています。非営利組織の Lygature は、学術、産業、社会の官民連携を運営し、患者のための新しい医療ソリューション開発を支援しています。

PPP の成功例として、「欧州リードファクトリー」があります。このプロジェクトのミッションは、革新的な創業の起点を提供することです。欧州リードファクトリーは、500,000 個までの新規化合物を無料で入手できるユニークな業界標準 uHTS プラットフォームである European Compound Library、European Screening Centre を設立しました。欧州リードファクトリーのこれまでのインパクトには目を見張るものがあります。

- 2013-2018 年合計予算：196 百万ユーロ
- 欧州 15 カ国 30 人の参加者
- 公的パートナー関連の雇用者 150 人
- 薬剤候補で 40 百万以上のデータポイントを収集
- 120 以上の革新的疾患対象向けに 6,000 以上の高品質ヒット化合物を特定
- 影響力のある学術誌に 60 以上の科学関連記事掲載
- 雑誌「ネイチャー」の創業レビュー記事に 3 回掲載
- 欧州リードファクトリーの結果に基づいた 2 件の起業

「欧州リードファクトリーは、確実に欧州のエコシステムに必要なプラットフォーム形態です。」

ジェミラ・ハウアシン (Jemila Houacine), Medixci Ventures 社 投資チーム 共同研究者 (スイス)

魅力的なバイオ医薬品環境

2,900社以上の革新的なライフサイエンス開発企業の活動拠点となっているオランダは、研究開発、製造、流通、物流の事業をここで設立することを選択した多くの大規模バイオ医薬品企業に人気のある場所です。

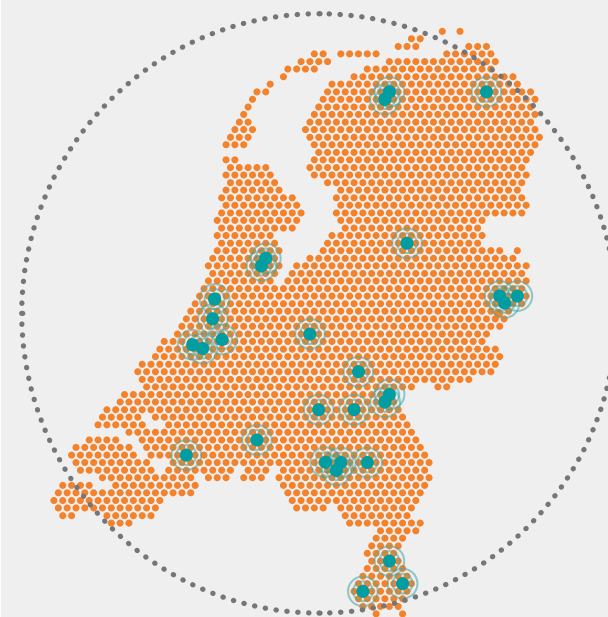
近くにいる協力者

オランダは、半径約193km内に420社のバイオ医薬品会社があるコンパクトな国です。高密度なビジネス立地が、高いレベルの協力体制と専用の知識、才能のプールを形成しています。約65,000人が医薬品開発の分野で直接、間接的に働いています。直接雇用のうち、87%は医薬品製造、12%は臨床研究、1%は医薬品原料に携わっています。中小企業の大部分が、オランダが才能ある若者にとって魅力的で刺激的な場所であると認めています。

比類なきITインフラ

オランダにおける協調の文化を実証するものに、グローバルIT企業を魅了する世界有数のデジタルインフラが挙げられます。マイクロソフト、シスコ、オラクル、インテル、IBM、ベライゾン、ゲーグルはすべて、世界最大のデータトラフィックハブであるアムステルダム・インターネット・エクスチェンジ(AMS-IX)によってバックアップされた、比類のないITインフラを利用しています。2016年のマッキンゼー・グローバル・インスティテュートによるデジタルグローバル化に関する報告では、オランダはデータフローで上位10カ国のうち2位にランクインし、データ転送とその結果生じるグローバル競争力とイノベーション重要性が強調されました。データフローを緩和することは、バイオ医薬品セクターの絶え間ない運営にも重要です。さらに、オランダは医療のデジタル化でもリードしており、約87%の患者関連データはデジタル記録で保管されています。これはバイオ医薬品セクターにとって非常に魅力的であり、医薬品開発に膨大な機会を提供しています。

オランダの大学



7 大学医療センター

420 バイオ医薬品会社

12 生体医療研究に従事する大学

すべてが半径 **193** km 以内に立地しています

オランダに進出した企業

MSD (メルク・アンド・カンパニー)、ヤンセンファーマ (ジョンソン・エンド・ジョンソン)、アムジェンを含む、多くの一流の多国籍医薬品企業がオランダでの事業運営を確立しました。これらの企業では、研究開発、製造から物流、マーケティングまですべてを事業対象としています。オランダに欧州本社を設立、またはオランダの中小企業へ投資している企業もあります。



バイオテクノロジー企業

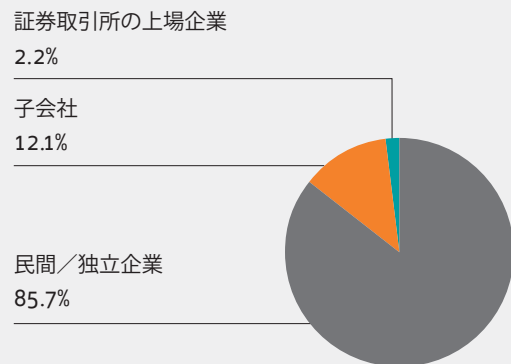
オランダのライフサイエンス分野においてバイオテクノロジーには顕著な特色があります。この国は、健康、栄養またはバイオベースの分野における事業を運営するスタートアップ企業から、中小企業、大規模組織まで数々の革新的バイオテクノロジー企業の拠点となっています。この活発な分野を確立するためにハーバート・ハイネカー、フ

ベルト・シューメーカー、ヘンリ・ターミアーなどのオランダ人科学者や起業家たちが重要な役割を果たしています。

過去数十年の間、ガラパゴス、ジェンマブ、Kiadis などのオランダのバイオテクノロジー企業はグローバル社会、サステナビリティ、保健に大きく寄与する新薬、診断、産業製品の開発に大きく貢献してきました。

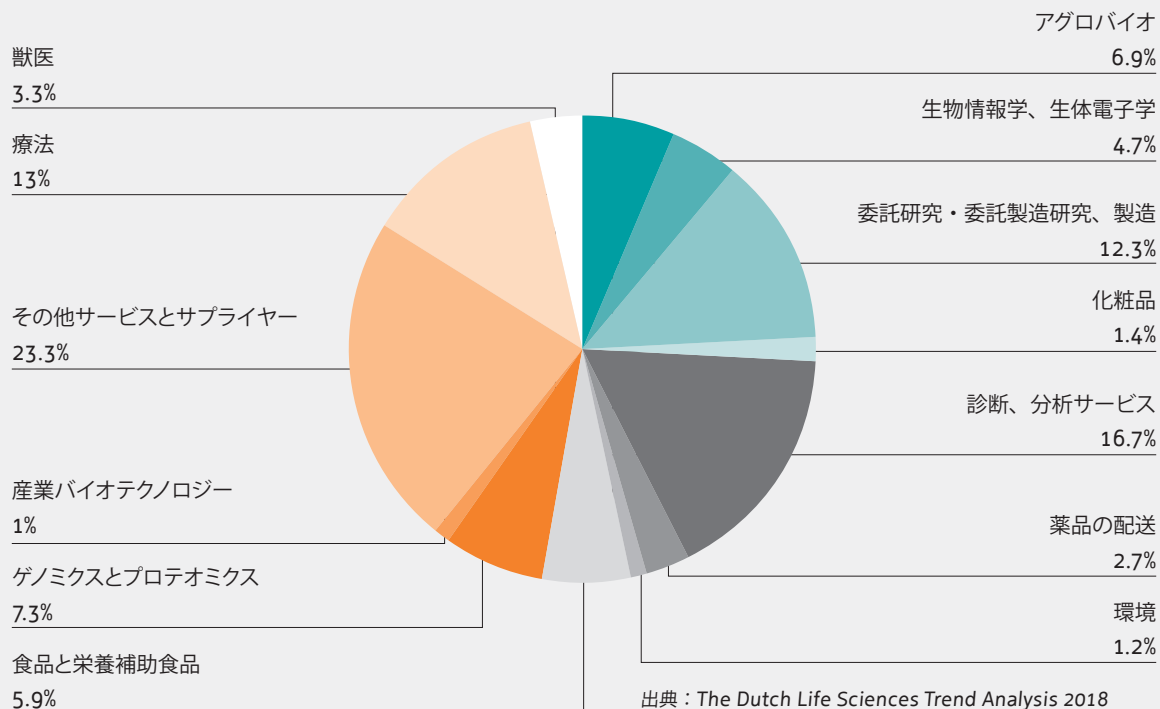
オランダに立地するバイオテクノロジー企業の大部分（85.7%）は民間または独立組織で主に治療、診断、分析とそれらの関連サービスの提供、製品の供給を行っています。

Key activities of biotechnology companies by ownership status



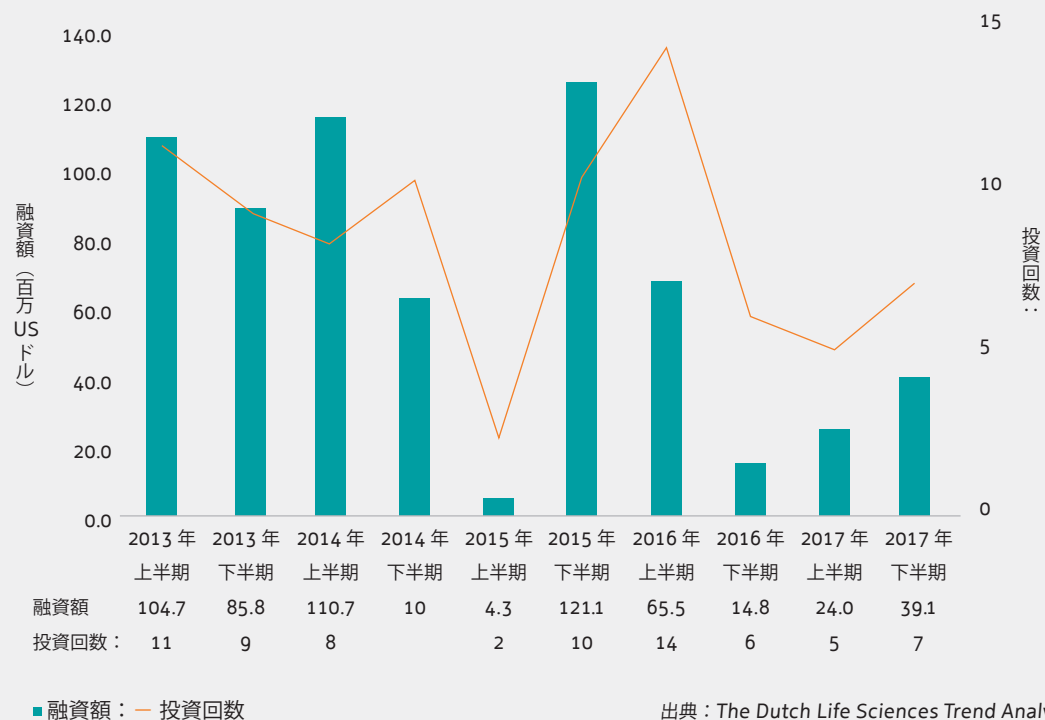
出典：The Dutch Life Sciences Trend Analysis 2018

Key activities of biotechnology companies



出典：The Dutch Life Sciences Trend Analysis 2018

Venture financing of biotech companies

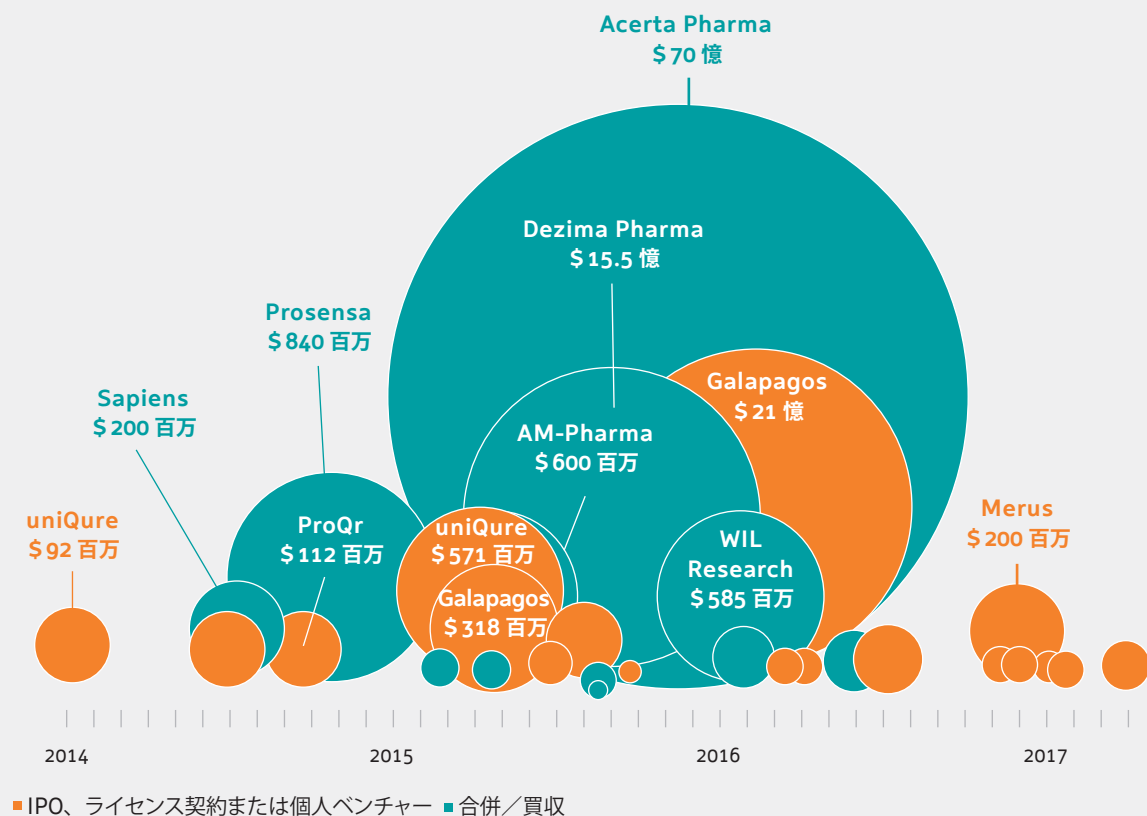


出典：The Dutch Life Sciences Trend Analysis 2018

「オランダの医薬品業界には、Acerta Pharma など多くの有望なスタートアップがあります。Acerta Pharma の潜在的な技術と優秀な科学者の存在が、私たちがこの企業に興味を持った背景にあります。私たちは 2016 年に同社の株の過半数を取得する出資を行いました。その後、Acerta Pharma は当社の血液系腫瘍総合研究拠点として、悪性腫瘍患者のための複数の新しいターゲットの治療に取り組んでいます。」

パトリック・コナー (Patrick Connor), アストラゼネカ社 オランダ 社長

合併と新規株式公開 (IPO)



近年の企業合併とビジネス

近年、いくつかのオランダのバイオ製薬会社はより規模の大きい製薬会社からの投資をひきつけ、一部のオランダ企業の買収に至りました。さらに、数社はニューヨークの証券市場で IPO を実現させました。

最大の IPO、合併／買収

IPO

Galapagos: ガラパゴス \$317 百万
 uniQure: \$91.8 百万
 Merus: \$42.5 百万

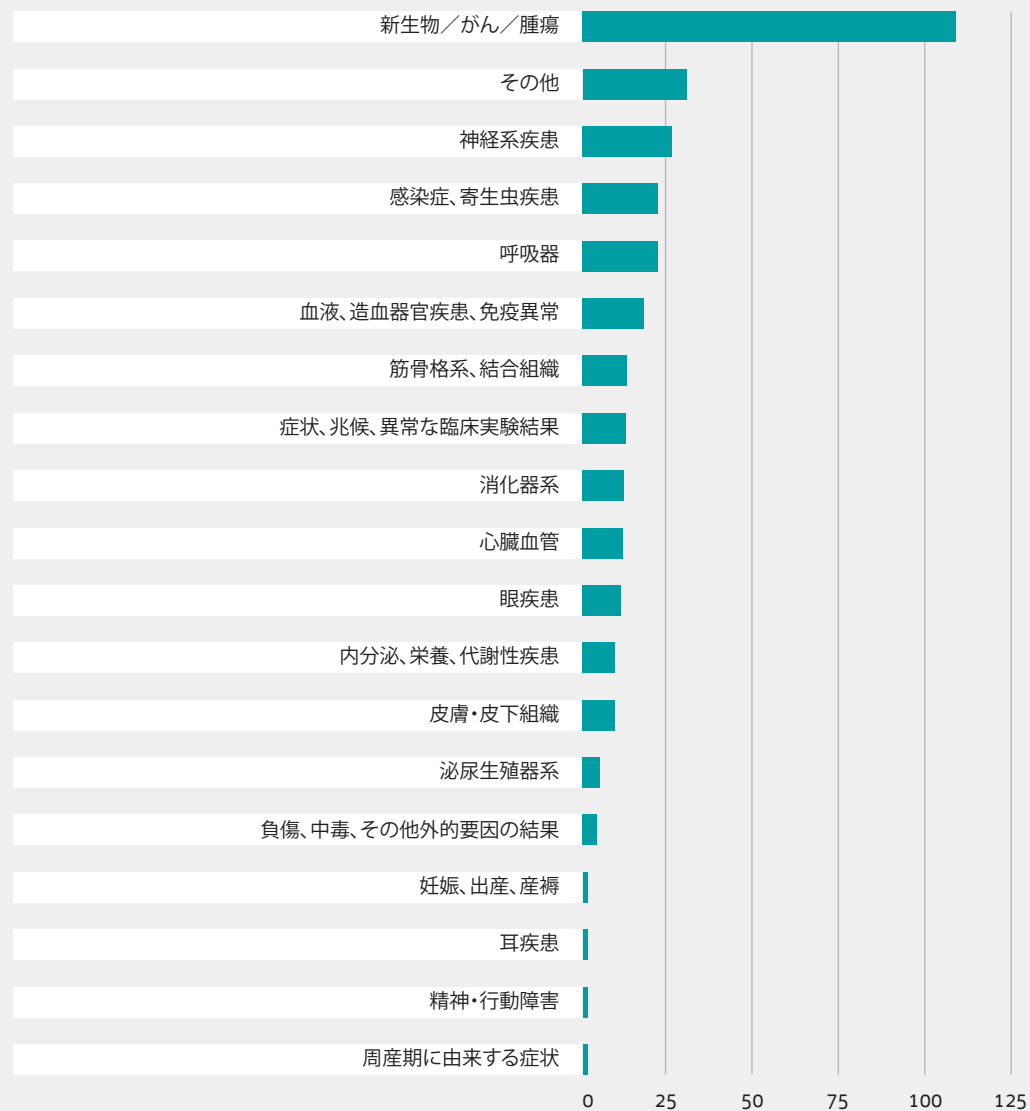
合併／買収

Acerta Pharma: 最大 \$70 億
 Dezima Pharma: \$15.5 億
 WIL リサーチ \$585 百万

重要な提携 (例: 特許権使用料)

ガラパゴス / ギリアド: \$725 百万
 ガラパゴス / アッヴィ: \$600 百万
 uniQure/BMS: \$245 百万

Biotech products - breakdown by therapeutic area

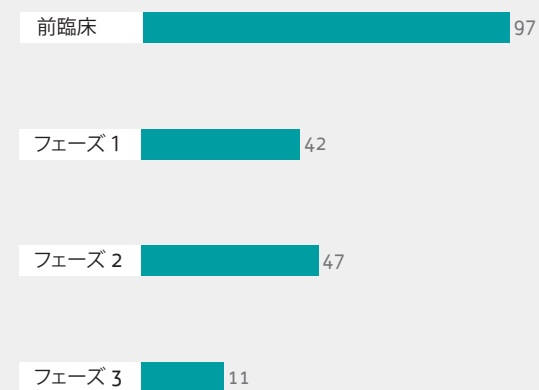


出典：The Dutch Life Sciences Trend Analysis 2018

医薬品開発

オランダは、医薬品、人・動物ワクチン、再生医療の分野において高い地位を維持しています。2018年、オランダでは197種のバイオテクノロジー新薬が開発され、その大部分（97種）は臨床試験前段階、11種はすでにフェーズ3にありました。市場で入手可能なバイオテクノロジー製品のほとんどは、がん、感染症、寄生虫疾患、神経系疾患の治療向けです。

197 Biotech medicines in development



出典：The Dutch Life Sciences Trend Analysis 2018

臨床研究

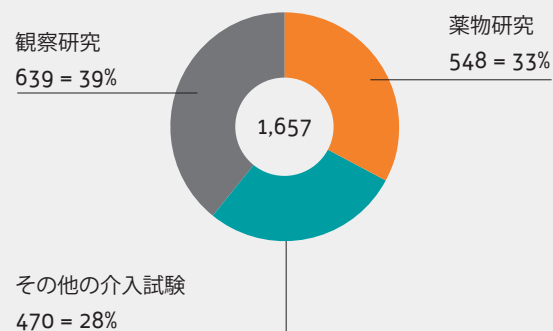
オランダは卓越した科学の知識、優秀な医師や科学者の存在、そして患者の協力も得られることから臨床試験の分野において重要な役割を果たしています。国内の研究機関と一般開業医の高密度なネットワークにより、登録されている患者数も高いレベルで維持されています。

実態と統計

毎年、約 500 の新規臨床試験が CCMO（中央倫理委員会）に申請されており、およそ 97% が承認されています。2017 年、CCMO と医療倫理委員会は合計 1,657 の研究ファイルを評価し、そのうち 548（33%）は薬物臨床試験でした。薬物臨床試験の多くは産業部門（61%）からの申請であり、フェーズ 3 の研究（30%）でした。

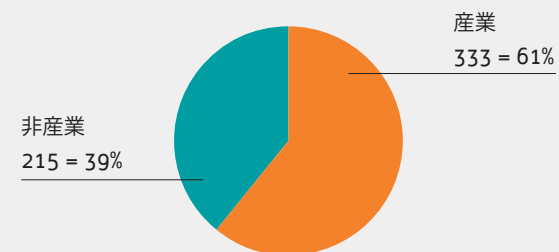
2018 年、ClinicalTrials.gov のウェブ上のデータによると、オランダでは 773 種の進行中の臨床試験研究と 1,486 種の参加者を募った研究がありました。この数は隣国ベルギーと同程度です。オランダは、フランス、ドイツ、イギリスに比べ、1 人当たりの臨床試験を比較的多く実施しています。

Research files (2017)



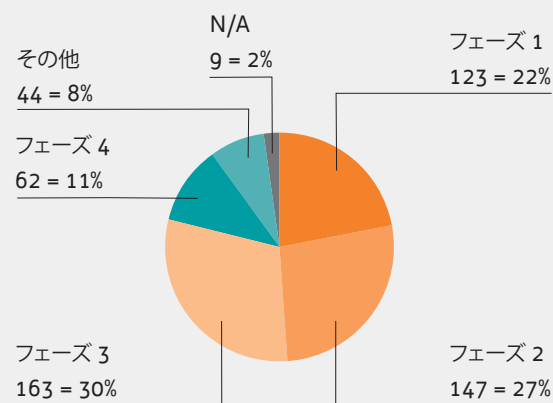
出典：Annual report CCMO 2017

Clinical drug trials by industry and non-industry (2017)



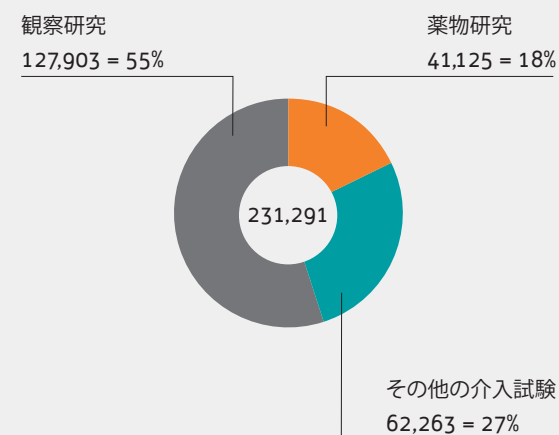
出典：Annual report CCMO 2017

Clinical drug trials per phase (2017)



出典：Annual report CCMO 2017

Participants (2017)



出典：Annual report CCMO 2017

高いレベルでの連携

オランダが近隣諸国と異なる一面として、高いレベルでの連携があります。これは、国の臨床研究に強く反映されています。大学、学術医療センター、患者組織、産業間の密接な連携は標準的な基盤であり、これにより質の高い臨床研究が行われています。

臨床研究を強化するために共同で取り組むACRON（委託研究組織）、Association Innovative Medicines（革新的な医薬品団体）、HollandBIO（バイオテクノロジー）といった企業団体のネットワークがあります。

さらに、多くのステークホルダーは価値ある知識と科学の力ができるだけ早く患者のためになるよう臨床試験を最大限にすることに重点を置き、「オランダ臨床研究財団（DCRF）」の旗印の下で結束しています。DCRFは、新しく、有効で安全な治療法が早急に患者向けに利用可能となるよう緊密に連携する組織で構成されています。DCRFのメンバーには、大学医療センターの下部組織、委託研究機関、薬剤開発会社、医療倫理委員会、患者、患者組織、そしてオランダ王国政府が含まれています。

DCRFはまた、新しい「欧州臨床試験規制（ECTR）」の実施と新しい体制への移行が確実にスムーズに行えるようにします。そうしたことから、DCRFはオランダが医薬品開発者にとって非常に魅力的な場所として維持され、臨床医療研究の実施にとって理想的な場所であることの証となっています。

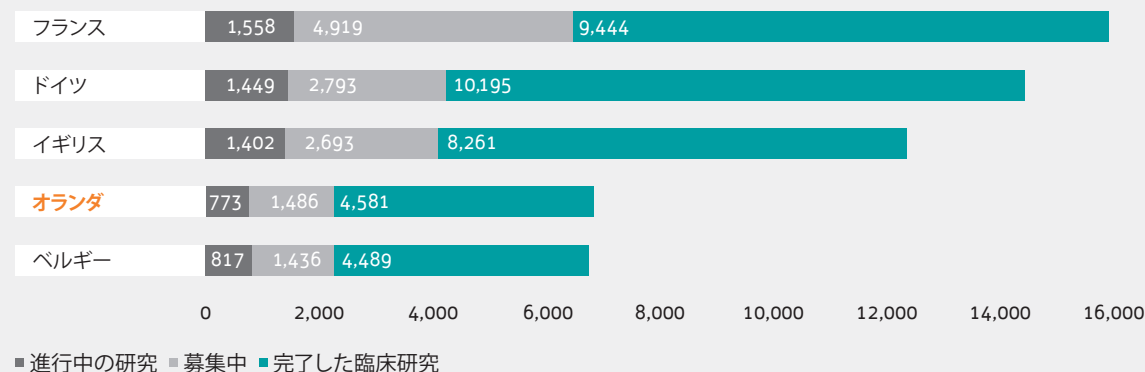
早期臨床研究

オランダは、承認までの期間が短いこと、優れた質と高い専門性により、早期臨床研究に非常に魅力的な場所となっています。フェーズ1の臨床試験の大部分は、1カ月以内に承認されます。これは、ほかの欧州諸国に比べてかなり早く、企業が臨床試験を始める際、魅力的な利点となっています。

上記の要素に加え、オランダはフェーズ1の研究に関して大手専門機関からも恩恵を受けています。特に、3つの大規模な委託研究組織がフェーズ1の研究を実施しています。

これらの組織は、研究計画、要綱作成から規定申請、臨床の実施と分析まで幅広いサービスを提供、大学や大学医療センターとも密につながっているため、企業から高く評価されています。

Number of clinical trials (2018)



出典：ClinicalTrials.gov

知的財産

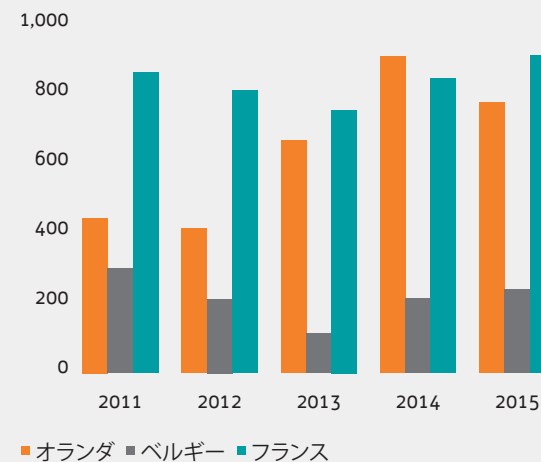
オランダのバイオテクノロジーの特許数は驚くほど多く、また近年急速に増加しています。2015年には、600件以上の特許がオランダで申請されました。

現在、オランダはバイオテクノロジーの特許申請で世界2位にランクされています。



Number of patents

オランダ、ベルギー、フランスのバイオ製薬業界とバイオテクノロジー



出典：PwC, Economische Footprint Nederlandse Geneesmiddelensector, 2017

レギュラトリーサイエンスとイノベーション

オランダはレギュラトリーサイエンスとイノベーションの分野をリードする存在です。レギュラトリーサイエンスは、医薬品の有効性とリスクの両方を評価するための新しい基準とツールの開発・検証を目的とした比較的新しい領域です。レギュラトリーサイエンスは、医薬品評価の制御的効率と効能の改善に重要です。

先駆的な機関

ユトレヒト大学との密な連携により、医薬品の質、効能、安全性を規制する独立国家機関であるオランダ医薬品評価委員会（MEB）は、欧州内の規制機関ネットワーク内でレギュラトリーサイエンスの分野を率先し、研究の取り組みをリードしてきました。欧州医薬品庁のアムステルダムへの移転は MEB の役割を更に拡げ、オランダにとって、欧州における規制革新のリーダーとしての地位をさらに確かなものにする重要な機会となりました。

ネットワークとプラットフォーム

オランダはレギュラトリーサイエンスに関する結びつきの強いネットワークから恩恵を得ており、オランダ人による数件の取り組みは規制体制の改善と規制革新の促進に焦点を当てています。最良の例は、幅広い分野のステークホルダー（産業、学術、政府、NGO）を結集させるプラットフォームである Escher です。Escher の目的は、効率的で有効な規制体制を構築するため、医療品の開発、市場の権限、償還、使用および医療技術に関する政策と規制の分野における研究と国際議論を推進することです。

もう1つの重要な取り組みは、対話と知識共有の国家プラットフォームである「オランダ・レギュラトリーサイエンス・ネットワーク（RSNN）」です。RSNN は、産業、学術、政府機関、より広い範囲のレギュラトリーサイエンス分野の専門家ネットワークで構成されています。その使命は、すべてのステークホルダーに知識を共有、発信し、さらなる研究の議題を設定することで、医薬品開発、市場の権利、利用、医薬品の適切な使用のための効率的で有効な規制体制を促進することです。

「オランダでは、学界、企業両方の規制機関と科学者が共同で医薬品規制のさらなる改善を模索しています。それが新しい治療法の評価の為にオーダーメイドで実践的なアドバイスと提案につながります。」

ヨープ・ファン・ヘルヴェン (Joop van Gerven), 中央倫理委員会 (CCMO) 委員長

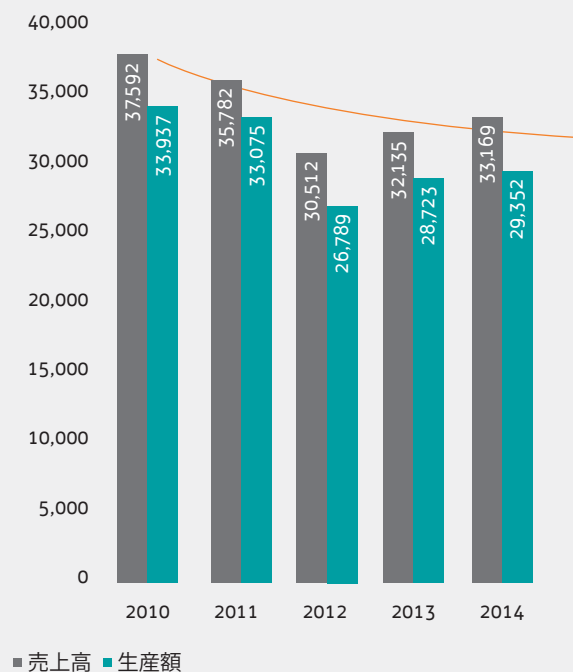
総売上高と投資額

オランダ医薬品セクターの総売上高*は2014年に330億ユーロに達し、生産*は290億ユーロ以上となりました。オランダ医薬品セクターの総売上高は主に医療用物品の流通（84%）と医薬品の製造（16%）です。

オランダでは、毎年約3億8千万ユーロが研究開発に投資されています。内訳：国内研究開発活動に2億5千万ユーロ、国外研究開発費用に1億3千万ユーロ。

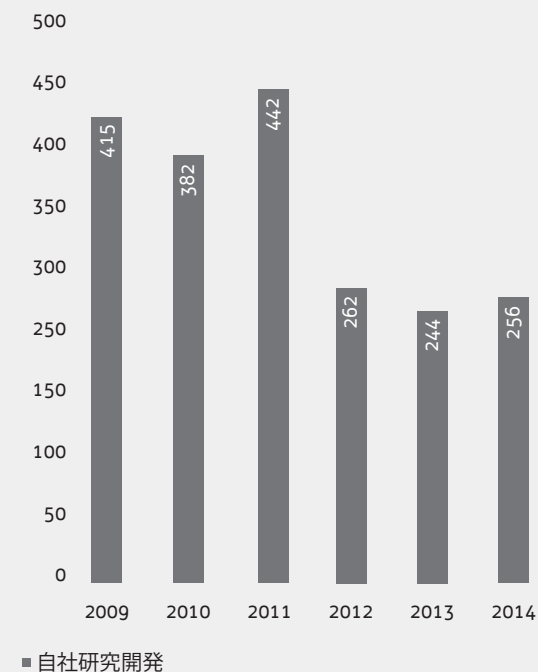
*総売上高とは、該当期間の企業（組織、法人）による合計売上高です。生産額は、製造関係の売上額より算出されています。

Total turnover and production value in millions of euros



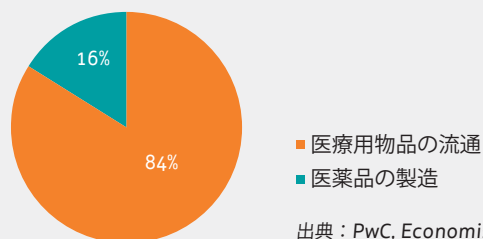
出典：PwC, Economische Footprint Nederlandse Geneesmiddelensector, 2017

Private investments in own R&D in millions of euros



出典：PwC, Economische Footprint Nederlandse Geneesmiddelensector, 2017

Distribution of turnover



出典：PwC, Economische Footprint Nederlandse Geneesmiddelensector, 2017

輸出と輸入

医薬品の輸出は合計 270 億ユーロ、輸入は 190 億ユーロであり、欧州製薬団体連合会 (EFPIA) によると、オランダは欧州で 7 位にランクされています。

Pharmaceutical exports

EFPIA 2015	百万ユーロ
ドイツ	68,706
スイス	58,127
ベルギー	41,003
イギリス	33,343
アイルランド	30,231
フランス	27,857
オランダ	27,434
デンマーク	11,537
スペイン	10,934
オーストリア	8,472

出典：EFPIA, The Pharmaceutical Industry in Figures, 2017

Pharmaceutical imports

EFPIA 2015	百万ユーロ
ドイツ	42,282
ベルギー	34,694
イギリス	30,503
フランス	23,659
イタリア	21,372
スイス	20,688
オランダ	19,168
スペイン	13,826
オーストリア	8,002
ロシア	6,873

出典：EFPIA, The Pharmaceutical Industry in Figures, 2017



マークウィン・フェルダース (Markwin Velders)


Kite Pharma 社 取締役副社長

「Kite Pharma にとってオランダが拠点として優れている点が幾つかあります。研究開発にはサンプルとなる患者が必要なため、近隣に病院があることは、Kite にとって重要です。生活水準も重要で、インターナショナルスクールがあるという事と、多くの人々が英語を話すことは、拠点としてのオランダを魅力的にしています。

オランダは欧州の表玄関であることも、Kite にとって重要な選択の基準となっています。当社は現在、革新的療法を欧州に供給するための製造施設を建設しています。そこでは、今後 2 年間で約 500 人を雇用する予定です。当社は患者に特有のオーダーメイドの薬剤を製造しているため、当社製品にとって物流はきわめて重要です。そのため、当社は物流インフラを最大限に生かせるスキポールに近い立地を選びました。

オランダの研究の質は高く、Crucell、Kite、ジェンマブなど、学術研究から出発し、証券取引所の上場企業へと成長した優良なバイオテクノロジー会社の例が多数あります。」



An aerial photograph of a wind farm in a colorful agricultural landscape. The wind turbines are arranged in a long line, extending from the foreground towards the horizon. The fields are divided into various colored sections, including green, brown, and red. The sky is clear and blue. The overall scene is bright and sunny.

次の章では、ビジネスの進出先としてのオランダについて、経済、インフラ、財政状況、インセンティブ、生活の質など、包括的に詳しくお伝えします。

オランダ

オランダについて

正式名：

オランダ王国

政府の形態：

立憲君主国と議会民主主義

国家元首：

ウィレム = アレクサンダー国王陛下
オランダ国王、オラニエ=ナッサウ家王子

首都：

アムステルダム

政府所在地：

ハーグ

表面積：

33,800 km²

位置：

西ヨーロッパに位置し、西は北海、南はベルギー、東はドイツと国境を接しています。

人口：

17,250,348 人 (2018 年 9 月)

人口密度 (km²):

510 人 (2018 年 9 月)

通貨単位：

ユーロ

言語：

オランダ語、フリジア語

出典：Holland Compared, 2018

オランダ

戦略的な立地であり、高学歴で多言語を話す人材、高度な医療体制、優れた国際的ビジネス環境のあるオランダは、外国企業にとって世界有数の事業拠点の1つです。オランダは、世界的な生活の質の調査で一貫して高い地位を維持しており、海外からの赴任者にとって開放的で安定した、安全な居心地の良い国です。

オランダは豊かで繁栄した国であり、欧州連合の創設時からの加盟国の1つです。優れた教育システム、整った医療、多能で多言語を話す人材、高い市場効率により、安全性、透明性、安定性、社会的責任といった点で高い評価を得ています。

多様な文化を持つオランダに暮らす人々は、身近に高水準の生活を楽しんでいます。にぎやかな中心市街地では、多くの人が自転車で移動し、快適なコミュニティを維持しています。一方で、オランダは穏やかで静かな田舎がすぐ手に届くところにあります。地元の人々と外国から移り住む人たちは、同じ様にこの国の豊かで多様に富んだ文化、娯楽、スポーツなどの活動を楽しんでいます。

欧州の3大経済国（フランス、ドイツ、イギリス）の中心に位置しているため、欧州各地への行き来が容易であり、地域の主要市場にサービスを提供するための理想的な基盤を国際機関や企業に提供しています。

オランダは、安定性と公平性で長年評価されてきました。EU組織である欧州刑事警察機構、欧州司法機構、欧州人権裁判所、その他多くの機関が所在しています。汚職行為防止やサイバー・セキュリティにおける高い順位は世界最高水準の安定した事業環境に寄与しています。



戦略的立地

オランダは、欧州及び世界のその他の地域に活動範囲の及ぶ国際的なビジネスを行う事業者にとって最高水準の戦略的な立地となっています。好都合な立地であるため、欧州市場への迅速で容易なアクセスが可能となっています。実際、欧州で最も収益性の高い消費市場の95%はアムステルダムとロッテルダムから24時間以内に位置しています。

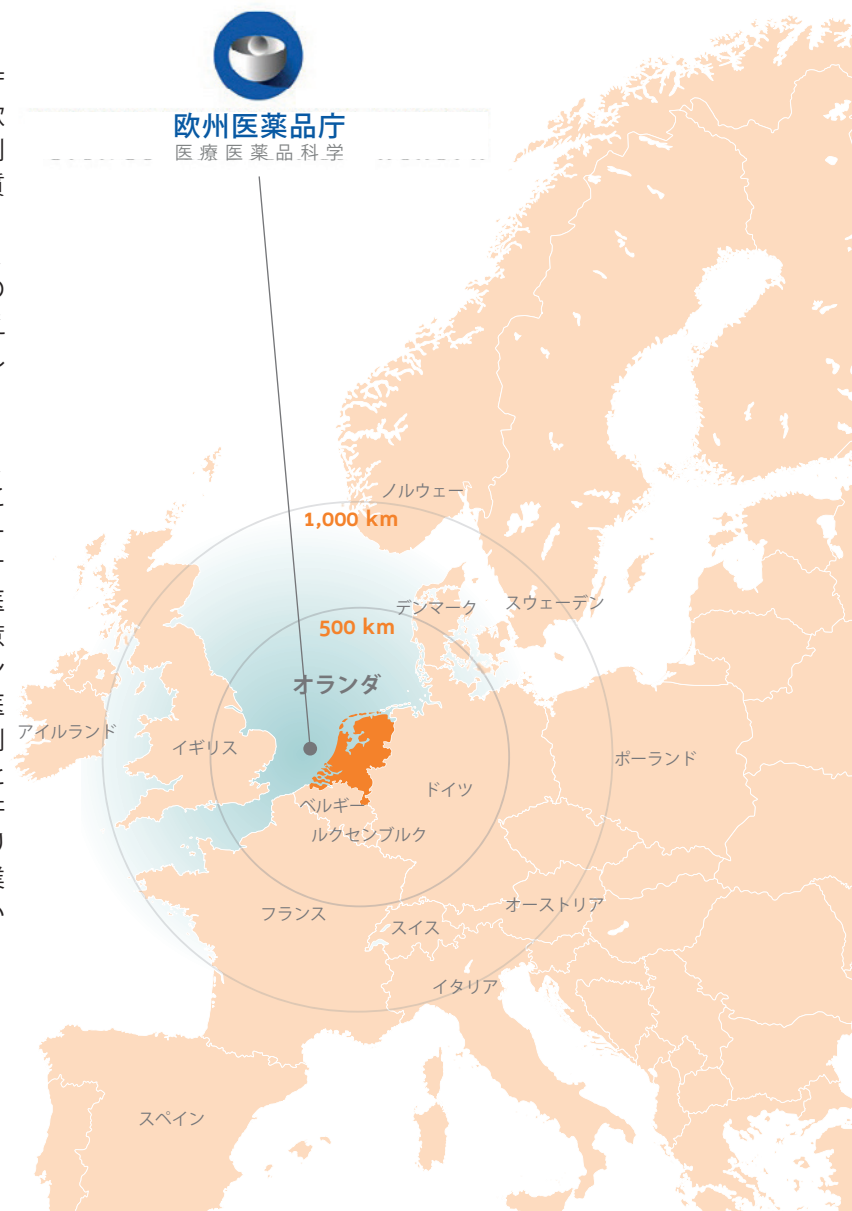
オランダは、その立地と高い水準の空港（アムステルダム・スキポールを含む）、港湾（例：ロッテルダム、アムステルダム）の存在により、欧州内の流通において戦略上のハブとみなされています。物流センターの数、内陸輸送船舶の数において欧州第1位となっています。オランダは世界で最もインターネット環境の発達した国の1つで、全世帯の98%がインターネットを利用しています。


欧州医薬品庁

2019年3月、アムステルダムは欧州医薬品庁（EMA）の新たな拠点となりました。EMAは欧州連合（EU）の機関の1つであり、EU市場で利用できるすべての医薬品の安全性、有効性、品質基準を保証しています。

EMAは欧州の医薬品の科学的開発を評価、監督、監視し、28カ国のEU加盟国と欧州経済地域の国の人と動物の健康を保護しています。言い換えれば、5億人以上のEU域内の居住者を対象とした市場を監視しています。

EMAのロンドンからアムステルダムへの移転は、ブレグジットの直接的な影響によるものです。この移転は活発であったオランダの医薬品セクターを更に強化することになるでしょう。これによりオランダに焦点を当てるだけでなく新しいバイオ医薬品企業やサービスプロバイダーがオランダに惹きつけられる大きな機会となっています。オランダ政府は、EMAのアムステルダムへの移転が医薬品業界とサービスセクターに何千もの雇用が創出されることを期待しています。さらに、EMAと近い場所に立地する必要から専門弁護士、特許専門家やコンサルタントもアムステルダムに移ります。関係者の間では、オランダの医薬品研究業界も大きな景気の後押しを受けると予想されています。





「Xendo では、私たちの知識と専門性のレベルを高く評価する多くの海外パートナーとオランダのライフサイエンス&ヘルス・セクターで全般的に取引をしています。EMA の移転はファーマサービスを提供する企業にとって大きな後押しとなります。」

アンドレ・ファン・デ・サンデ (André van de Sande), Xendo 社 最高経営責任者

アムステルダム・ザウダス

優れたインフラ

オランダは、最高水準の港湾と空港、鉄道・高速道路の包括的なネットワーク、欧州で2番目に質の高いブロードバンドネットワークなどにより、総合的な物流の実績で世界3位の地位を占めています。

オランダは、戦略的な立地と国際的なビジネス志向への高さにより、DHL グローバル連携性指標で1位となっています。

事実、オランダの国内総生産（GDP）の半数は国際的な事業によるものです。欧州内外の何百万人ものお客様との取引を目指すグローバル企業に

とって、この国がどれほど魅力的であるか、その理由は明らかです。

空港

受賞歴のあるアムステルダムスキポール空港に加え、オランダには国際線を扱う地方空港が他に4カ所あります。そのため、世界的な航空輸送拠点の1つとなっています。スキポールはビジネストラベラーアワードにより25年連続で「欧州で最高の空港」、また貨物および旅客輸送の部門においても欧州で最高位の空港に選ばれました。

スキポール空港は、オランダのすべての主要都市から近距離にあり、高速道路、2次道路、高速鉄道のコンパクトで効率的なネットワークを通して容易にアクセスすることができます。地方のマーストリヒト・アーヘン空港は、欧州で最も迅速な航空貨物取扱空港であると考えられています。マーストリヒト・アーヘン空港は、ドイツとベルギーとの間の国境近くに位置しています。到着後、航空機から積み荷が降ろされ最初の配送トラックで欧州の産業・人口の集中する地域へ向かうまでをわずか45分で行います。



「ファーマ・ゲートウェイ・アムステルダムは、アムステルダム空港スキポールで最も適格で、効率的に、透明性のある、最高の欧州ファーマ・ゲートウェイとなることを可能するコミュニティ・アプローチです。ファーマ・ゲートウェイ・アムステルダムの一部である 23 社の物流会社には、航空会社、フォワーダー、ハンドラー、輸送会社が含まれ、全ての関係会社は共に航空貨物の工程の改善と革新のために尽力しています。」

マアイク・ファン・デル・ヴィント (Maaike van der Windt),

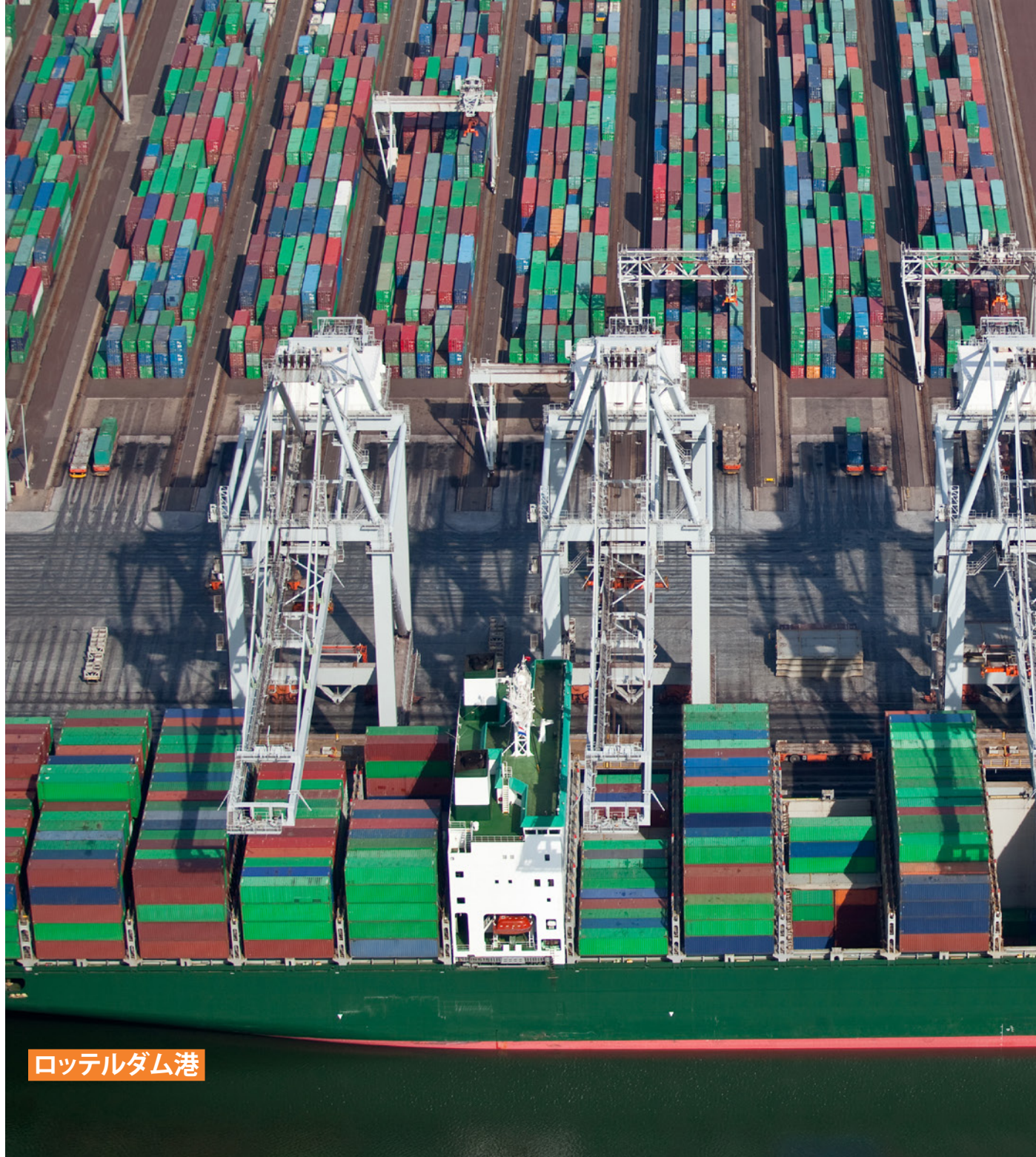
ロイヤルスキポールグループ カーゴ&カスタマーエクスペリエンス アビエーションマーケティング部長



港湾

オランダの港湾は、西ヨーロッパの全商業輸送の54%を取り扱い、年間5.8億メートルトンもの輸送を取り扱っています。オランダの港湾インフラは、世界トップに位置付けられています。

3カ所の深水港、何千kmもの河川、水路の高度なネットワークにより、欧州最大、最重要の港であるロッテルダム港から西ヨーロッパの主要な産業・経済の集積地まで1日以内に貨物を移動させることができます。これにより、企業は欧州市場への抜群のアクセスを得ることができます。アムステルダム港（欧州第5位の港湾）も物流と流通に更に恩恵をもたらしています。加えて、フローニンゲン港とゼーラント港がオランダの北部と南部にあります。



ロッテルダム港

デジタル・ハブ

オランダのデジタルインフラは、欧州で最高クラスとみなされています。アムステルダムは、欧州の4つのデータセンターの集積地の1つです。AMS-IXは、世界最大のインターネット相互接続ポイントです。近年、AMS-IXはアムステルダムをデジタル・ハブへと移行させる一躍を担いました。また、オランダのLTEモバイルインターネットブロードバンドは、欧州レベルにおいて最高のサービスとされ、スピードでは4位となっています。

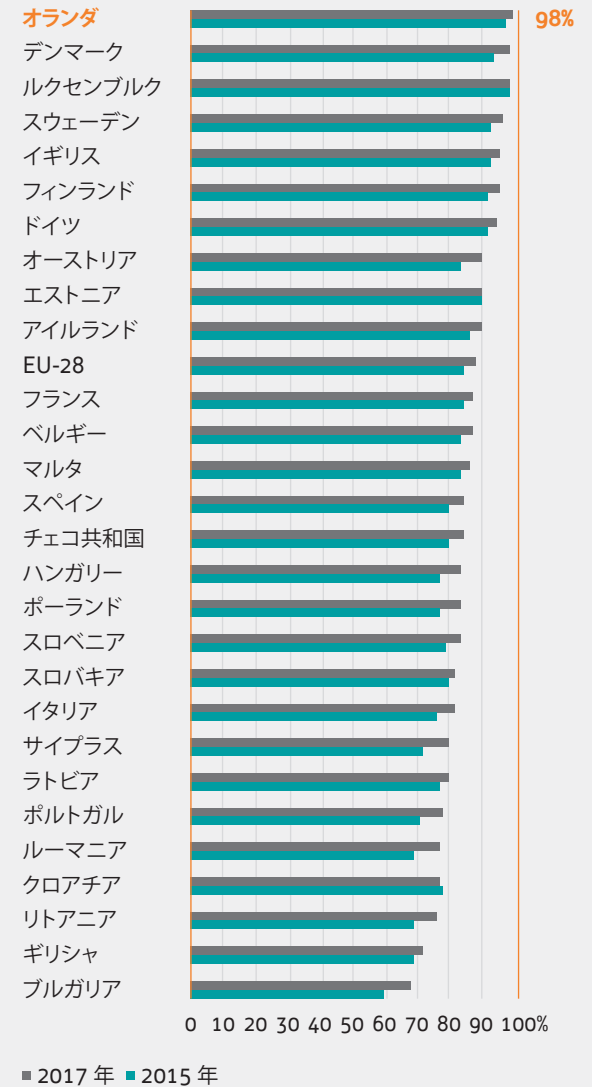
また、オランダでは98%の世帯にブロードバンド接続が普及しており、世界最高レベルとなっています。オランダの標準的なブロードバンドのスピードは世界最高水準であり、サイバー・セキュリティにおいても最高レベルとされています。AMS-IXは欧州大陸と北米を直接繋いでいます。大西洋横断ケーブル15本のうち11本が、オランダに上陸しています。この最先端で完全にデジタル化された高度な光ファイバーネットワークはマイクロソフト、IBM、グーグル、シスコ、オラクルといった多数の新興企業、データセンター、多国籍企業にとって有用なものとなっています。

道路と鉄道

欧州での物流、流通業務の構築を考える企業にとって、広域に展開され最新型に整備された道路網のあるオランダを選ぶことは自然なことと言えます。オランダには、3,055kmの高速道路を含む総延長139,000km以上の道路、12,000社を超える運送業者が存在します。オランダはヨーロッパの14%の国際道路輸送を取り扱い、欧州の国際道路貨物輸送において重要なハブとなっています。

オランダの鉄道システムは、3,055kmに及ぶ鉄道網を持ち、国内のコンテナターミナルからEU、北欧、中東の目的地までを直接結んでいます。また、オランダには3つの高速鉄道路線とロッテルダムからドイツまでを走る専用貨物複線であるベトウウェルルートがあります。これにより企業は欧州の流通の中心地へ迅速で直接的にアクセスできます。

EU-28 households with internet access at home



出典：Statistics Netherlands, 2018

「オランダは、多くの優れたインターナショナルスクール、オープンで友好的なオランダ人に加え、豊かな文化生活があるため、在住外国人にとり最適な国です。」

シェリ・モリン (Sheri Morin), Roche 社 営業部長

40



オランダでの生活

オランダは優れた居住地として高いランクを得ています。オランダ人は、素晴らしい住居施設や豊かな文化、優れた医療体制という環境に恵まれ、世界で最も幸せな国民と言えます。

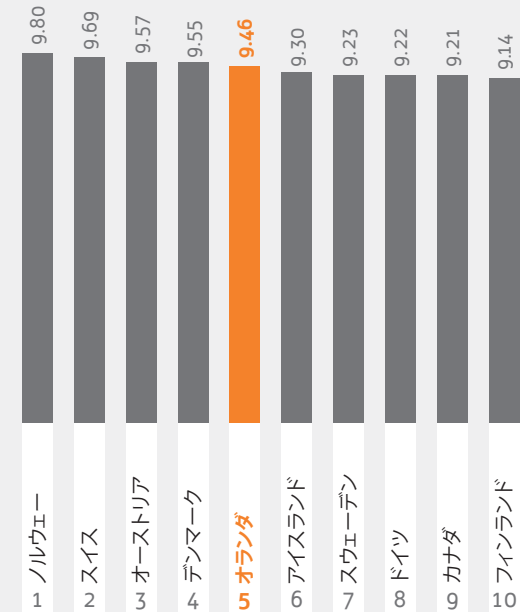
魅力的な住環境

オランダは、旅行やビジネスをするだけでなく、住む場所としても優れています。多くの娯楽、文化活動が便利な場所にあり、歴史的な都市部も楽しませてくれます。ゴッホ美術館、アムステルダム国立美術館など、多くの有名な美術館があります。



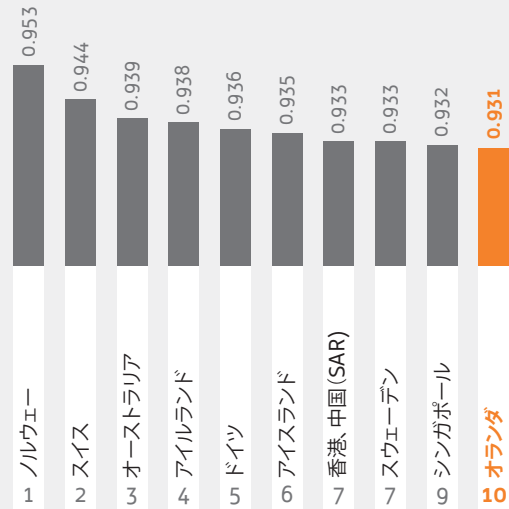
オランダは、生活の質に関する順位では上位 10 位の 5 位にランク付けされており、IMD によると住居は比較的経済的です。外国人居住者には、インターナショナルスクールが多くそろっており、オランダ語と英語で教える学校の数も増加しています(2015 年で 130 校)。コモンウェルス財団は、オランダ医療を質、利用機会、効率、資金、一般国民の健康的ライフスタイルに関して世界一であると評しました。さらに、2017 年、スウェーデンのシンクタンクであるヘルス・コンシューマ・パワーハウスは、オランダの医療体制を欧州の中で「特に優秀」(第 1 位)にランク付けしました。

Quality of life (2017)



出典：IMD, 2017

Human Development Index (2017)

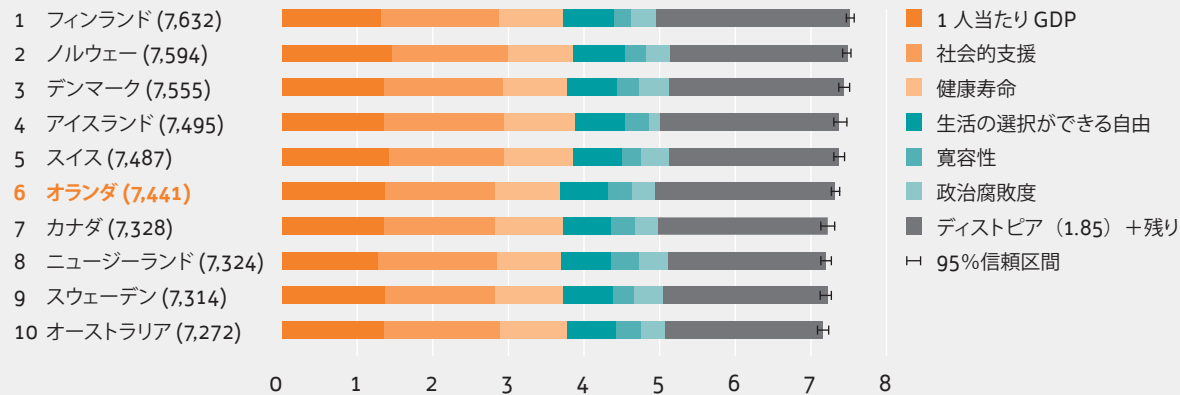


オランダは、国連開発計画（UNDP）の人間開発指数に登録された 188 カ国のうち、10 番目に繁栄した国であるとランク付けされました。UNDP は「繁栄度」を決定するため、GDP とともに寿命、識字率、公衆衛生などほかの要素も検討しています。

また、配慮、寛大性、健康、自由度に基づく世界幸福度レポートでオランダは 6 位となりました。大部分の欧州主要諸国に比べ、オランダは高水準を維持しながら生活費は低く抑えられています。

出典：United Nations Development Programme, 2018

Ranking of Happiness 2015-2017



出典：World Happiness Report 2017

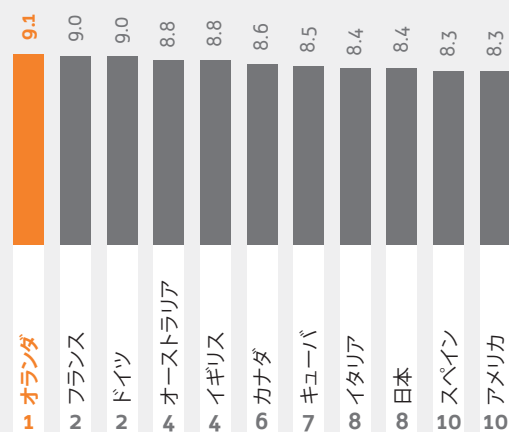
「研究主導のグローバルなバイオ医薬品企業として、アッヴィはオランダの極めて高水準な医療を高く評価しています。医療領域には、患者の革新的な治療の利用可能性を向上させるため、パートナーと提携する素晴らしい機会がまだあります。

ともに協力することで、私たちは病気の治療を超えて、患者の命、社会、科学自体により良い影響を与えることができるような最適な取り組みや考え方、リソースを組み合わせることができます。」

エステバン・プラタ (Esteban Plata), アッヴィ社 西ヨーロッパ&カナダ 国際事業副社長

Global Access to Healthcare Index (2017)

10点満点のスコア



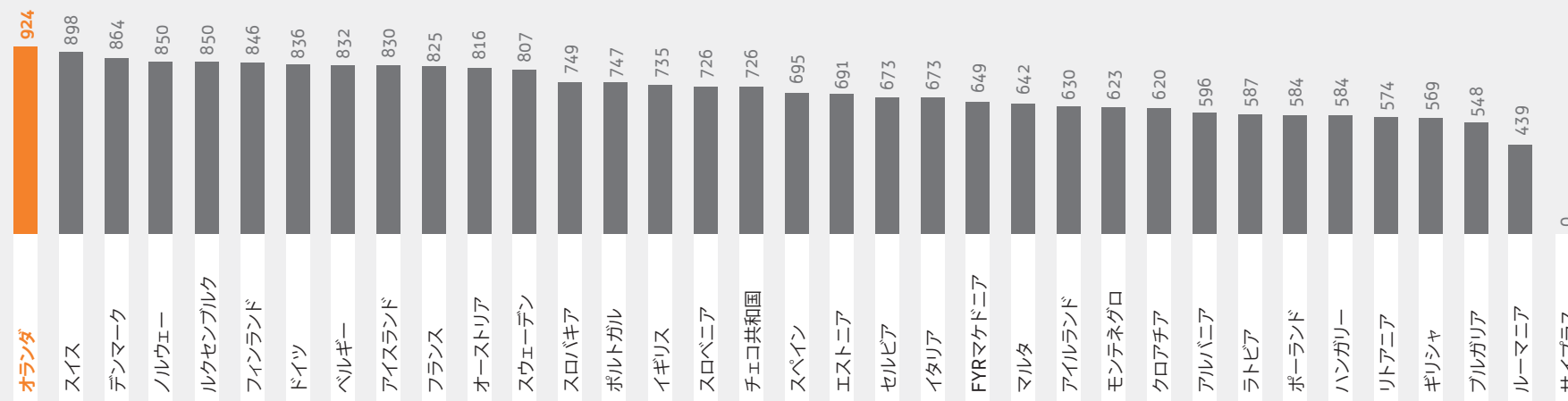
優れた医療

オランダでの生活で一番良い点の1つは、最高レベルの医療です。実際、2017年のユーロ健康消費者指標（産業基準）では、最高の医療サービスを提供していることで、35カ国のうち、1位にランクされています。2005年以来、オランダは一貫してトップ3のランキングを維持している唯一の国です。

また、世界各国の医療の利便性と医療体制全般を評価する「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」による「医療指標へのグローバルアクセス」においても、オランダは1位に輝きました。オランダの医療は高評価され利便性が高いだけでなく、費用もそれほど高くありません。OECDによると、2009年から2016年までの間に、医療支出は年間平均1%のみ増加しました。

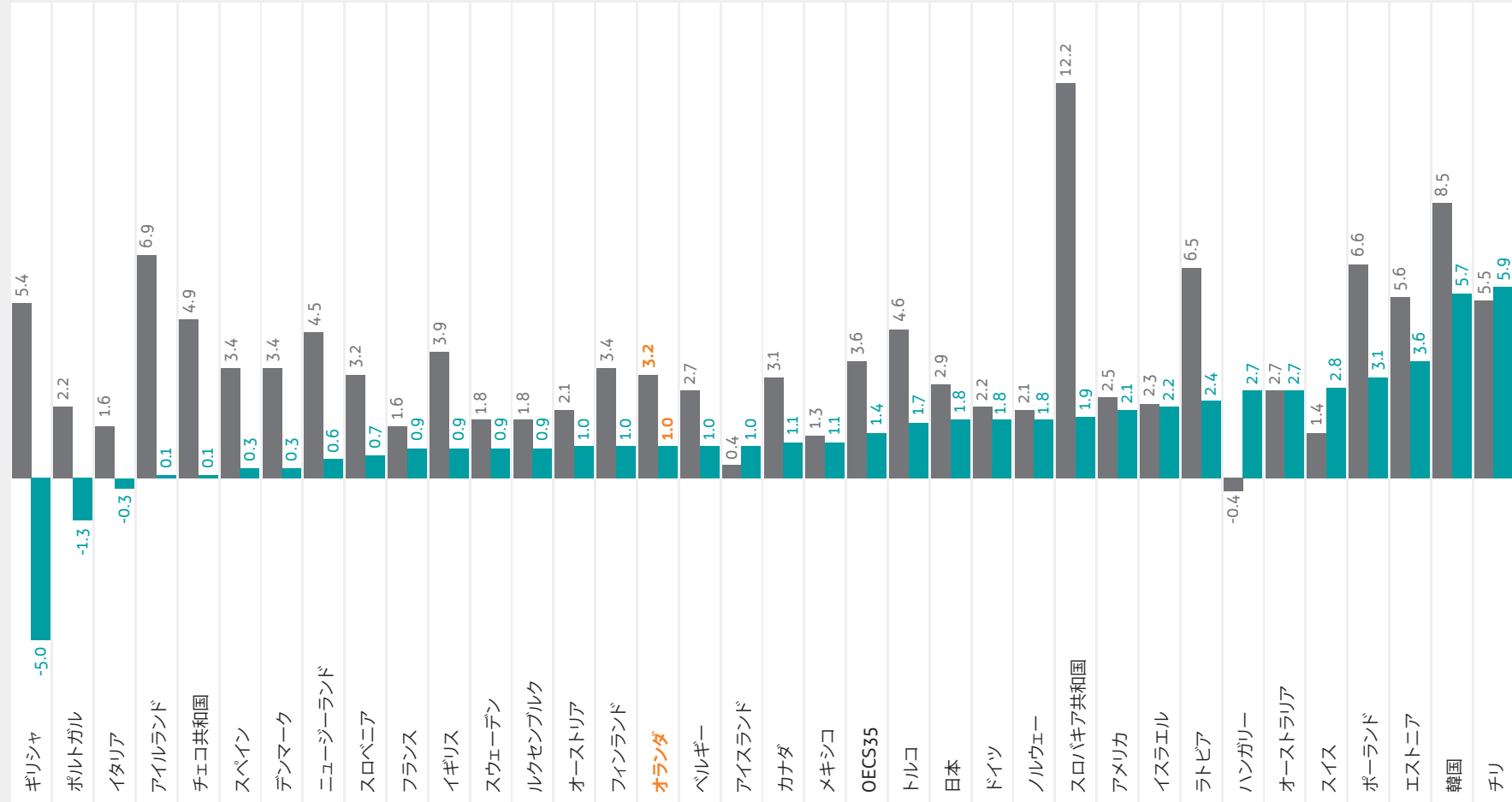
出典：The Economist Intelligence Unit, Global Access to Healthcare Index

Euro Health Consumer Index Scores (2017)



出典：Euro Health Consumer Index Scores (2017)

Annual average growth rate in per capita health expenditure, real terms, 2003 to 2016 (or nearest year) in %

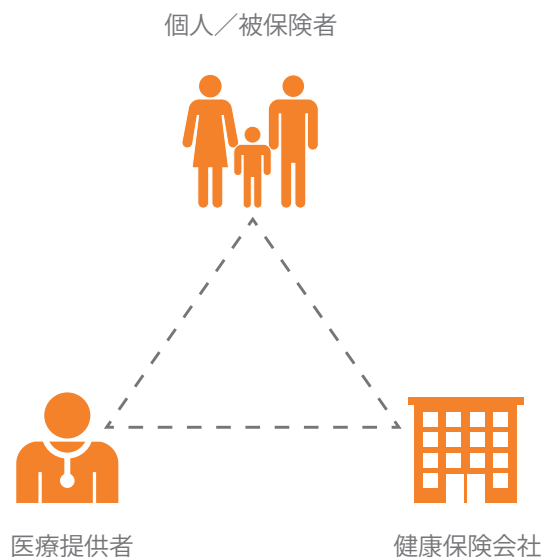


■ 2003 ~ 2009 年 ■ 2009 ~ 2016 年

出典：OECD Health Statistics 2017

医療制度

オランダの医療体制の成功は、全員がケアにアクセスできる、強制医療保険による連帯、高品質のサービスという主義により確証されています。オランダが医療で高順位を達成しているという事実は、この協力の哲学と共同精神が要因でもあります。



同じことがオランダのライフサイエンス & ヘルス・セクターにも当てはまり、政府の全面的支援を受ける企業と研究機関の協働と知識の共有が特徴的です。オランダの医療製品、医療器具に関するサービス、遠隔医療、その他の分野も革新的で、広範囲な「スマートソリューション」を提供しています。手に入りやすい持続可能な製品とソリューションにつながるオランダのモデルは、医療チェーン全体の非常に学際的な考え方とハイレベルな専門性に反映されています。

供給から需要まで

オランダの現在の医療体制は、近年の様々な変化から生じたものです。それは供給重視のシステムを捨て、需要重視のシステムへと移行しました。すべてのオランダ住民に包括的な基本健康保険パッケージの資格を与える新しい健康保険法は、2006年に適用されました。

これは、すべての合法居住者が24社の競合する民間（主に非営利）健康保険会社が提供する健康保険に加入する必要があるということです。この基本パッケージには、必要不可欠な医療が含まれており、居住者は任意で追加の歯科治療や他の補償をかけることができます。同時に、介護保険法のもと、居住者は介護のリスクに対する保険に法的に加入します。

官僚主義の削減

オランダの医療体制は本質上民間システムですが、公共の利益を保護するため、政府は管理機能を維持しています。この見直しは、一部、選択委託を通じた有効性と質へのさらなるこだわりを含め、患者にプラスになる様々な改善につながりました。

さらに、待機リストは短くなり、官僚主義は削減されました。患者には毎年医療保険会社を変更する自由があり、保険会社と医療提供者の政策に影響力を与えることができます。

「小児がんの欧州最大センターであるプリンセス・マキシマ・センターの設立は事実となりました。この新しいセンターでは、小児がんの医療と研究はすべてオランダのユトレヒトにまとめられています。専門性と知識の集合は、現在、そして将来的にがんと戦うすべての子どもたちに恩恵をもたらす新しい治療の開発機会の増加につながります。」

ハンス・クレバス (Hans Clevers), プリンセス・マキシマ・センター小児腫瘍学研究部長

47

プリンセス・マキシマ・センター

オランダの医療

オランダは高騰する医療費を非常に意識しており、保健・福祉・スポーツ省は国の医療体制が手ごろな費用で利用し続けられるよう、費用の抑制に注力しています。2017年、オランダの医療支出は975億ユーロ、GDPの13.3%に達しました。

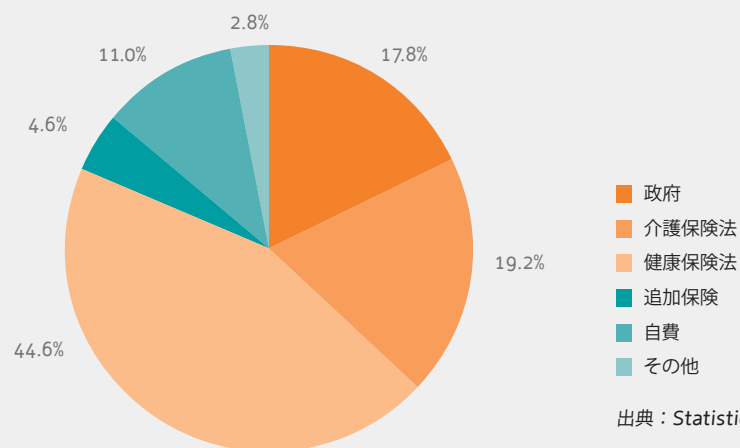
2016年では、オランダには121カ所・79の病院と144の外来診療所があります。2015年はこのセクターで約110万人を雇用しました。

全体として、病院数は実際のところ減少していますが、これは多くの病院が連携して専門機関をつくることに努めているからです。一方、より広い地域での利用が可能になったことと、在宅医療により、医療の利便性は上がっています。

患者の重要性

患者組織はオランダの医療政策を策定する際に重要な役割を果たしています。最大の患者団体は統括組織であるNPCFで、およそ170の様々な患者が組織する団体の代表として機能しています。

Financing of health expenditure (2017)



出典：Statistics Netherlands, 2018

Jobs in the Dutch healthcare sector

- > 薬剤師 2,525 人
- > 助産師 2,852 人
- > 歯科医 8,775 人
- > 一般開業医 8,865 人
- > 理学療法士 17,082 人
- > 専門医 22,585 人
- > 看護師 / 介護士 / 在宅ヘルパー 400,000 人

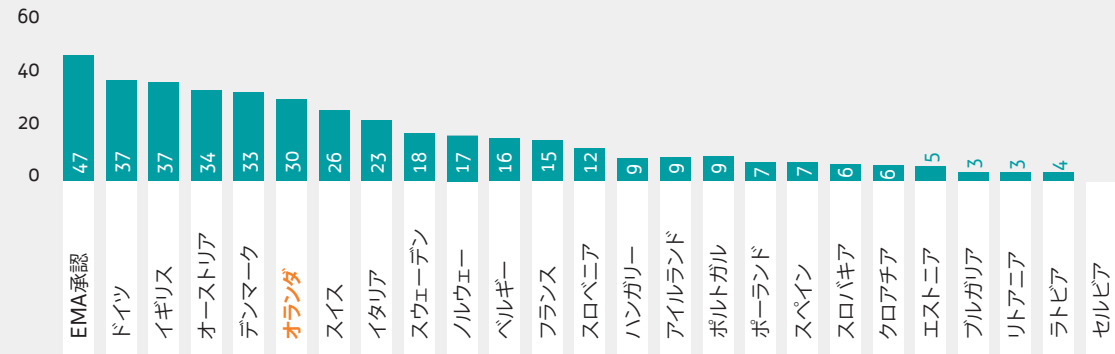
出典：Dutch Ministry of Health, Welfare and Sport, 2016

医薬品

2016年、オランダは医薬品の利用可能率が30でした。利用可能率は、欧州諸国の患者のなかで利用できる医薬品数によって測定されます。多くの国では、これは製品が償還リストに載せられた時点のものをいいます。利用可能率30のオランダは、EU諸国で6位にランクしています。

さらに、オランダは、医薬品の上市に続き、患者への迅速な提供をしていることで、欧州上位5つの国にランクしています。オランダでは、患者が医薬品を利用できるまでに平均で228日がかかります。上市から患者利用までの平均期間は、EU上市（またはEEA諸国以外の有効な上市）日から上市後の事務処理完了日までの日数で決まります。

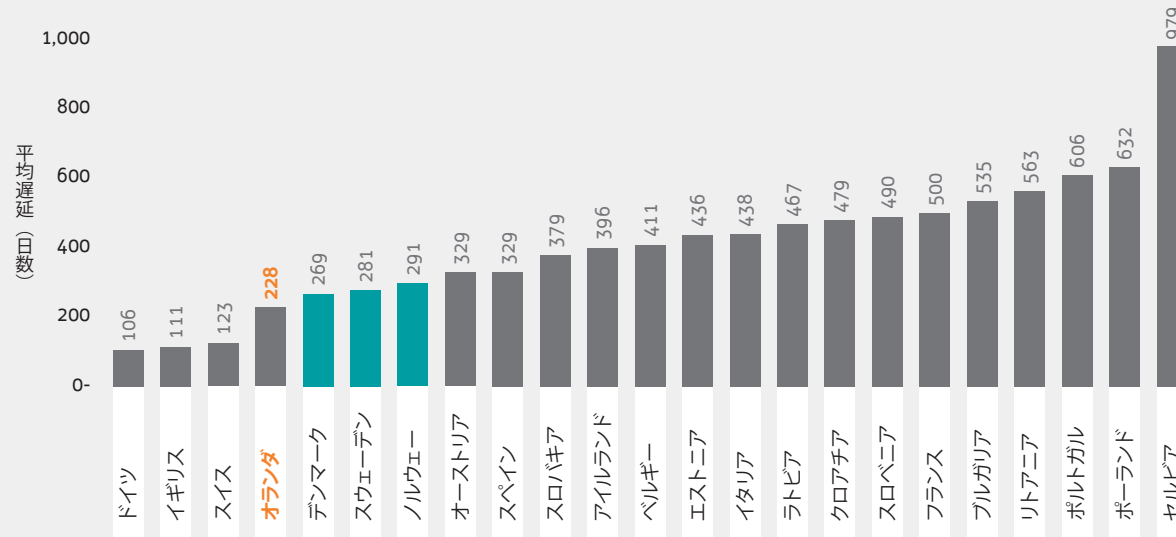
Rate of availability



出典：EFPIA, Patient W.A.I.T. Indicator 2017

■ 2016

Average time between marketing authorisation and patient access



- ほとんどの国では、患者の利用度は医療費の還付リストと同一視されています。例外はデンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの医療施設製品で、そこでは一般の還付制度が適用されない製品もあり、ゼロ遅延が人工的に中央値と平均を減少させています。

フランスでは、一時許可のシステムにより、競争のない革新的な製品が市販許可に先立って入手できることがあります。分析には考慮されていないため、フランスの平均は実際よりも高くなっています。

出典：EFPIA, Patient W.A.I.T.Indicator 2017



競争力のある経済

オランダのビジネス環境は魅力的で、経済は競争力を有します。オランダはフォーブスの2017年「ビジネスに最適な国」で3位を獲得しました。オランダはまた、良好なビジネス環境として世界経済フォーラムやIMDによる高い評価を得ています。幅広い分野の多国籍企業を含む、多くの投資家から興味を惹きつけています。競争力のある税環境と安定した取引関係だけでなく、国際化された高学歴で高い生産力のある労働力、洗練された（ITを含む）インフラ、戦略的立地、欧州の輸送ハブとしての重要な役割、質の高い生活などがあるため、企業はオランダが欧州の拠点として魅力的な場所であると考えています。オランダ経済はEUで6番目に大きく（世界18位）、2017年の国内総生産（GDP）は7,330億ユーロでした。これは、土地面積の小さい（世界で134番目）小規模な国としては大変すばらしいことです。

輸出・輸入主要国

オランダは世界で5番目の輸出国で、世界貿易の主要国です。

2016年、オランダは5,700億USドル弱の物品を輸出し、これは世界の輸出合計の3.6%を占めています。

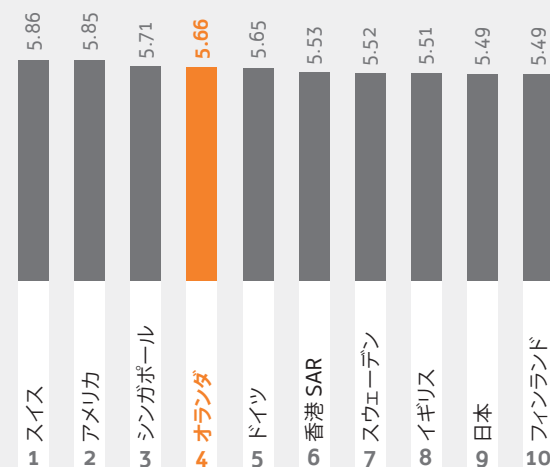
また、主要輸出国として8位にランク入りしており、世界の輸入の3.1%（2016年は5,040億USドル）を占めています。オランダのサービス輸出入額は大きく、2015年の合計は輸出1,800億USドル、輸入1,730億USドルとなっています。サービスの輸出では6位、輸入では7位にランク付けされています。

高い生産性

高学歴の労働力と安定した経済構造により、オランダの労働生産性は世界最高レベルです。オランダの被雇用者は国際化が進んでおり、大部分が多言語を話します。全体的に、高学歴および低学歴の被雇用者両方による高いレベルの労働参加が実現しています。

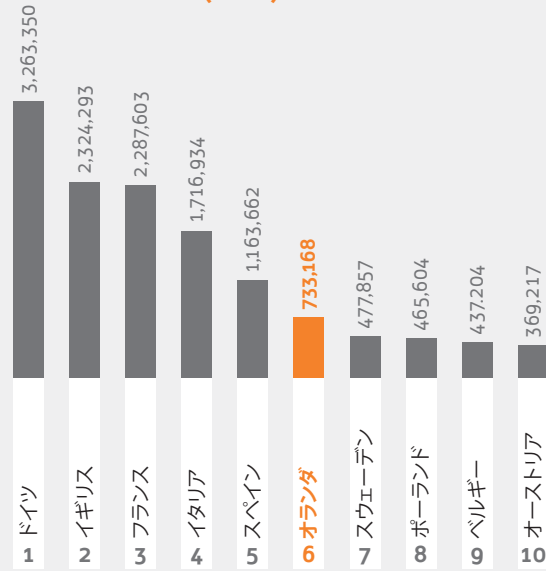
要するに、オランダはEUで最も豊かな国の1つです。被雇用者1人当たりのGDPは、EU平均の40,920USドルと比べ、52,959USドル（OECD、2016年）となっています。

Global Competitiveness Index (2017-2018)



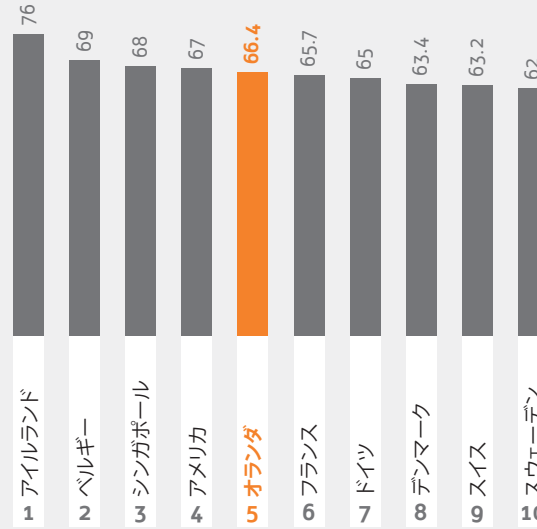
出典：The Global Competitiveness Report 2017-2018

GDP in the EU (2017)



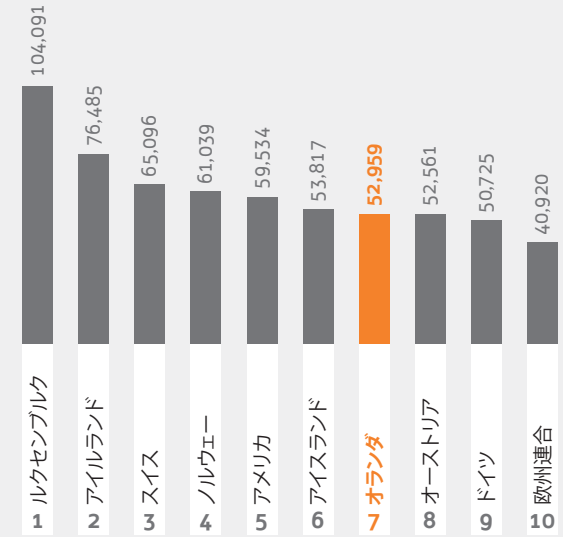
単位：十億ユーロ 出典：Eurostat

GDP per hour, corrected for purchasing power parity (2016)



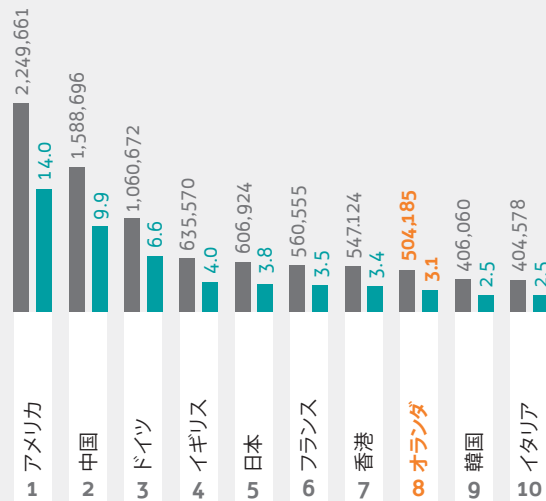
USドル 出典：The Conference Board, 2017

GDP per capita, PPP in \$ (2016)



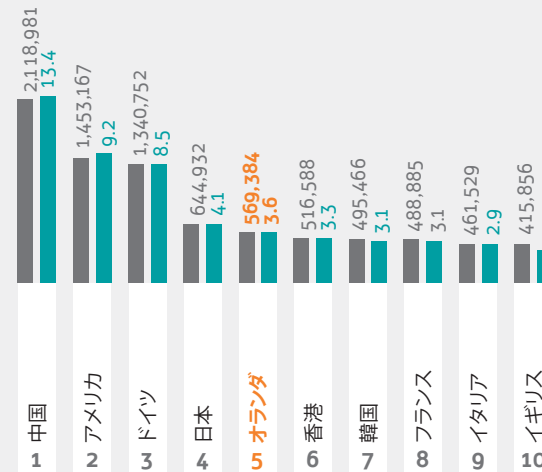
出典：OECD, 2016

Top 10 importers of goods (2016)



出典：International Trade Organisation, 2017

Top 10 exporters of goods (2016)



出典：International Trade Organisation, 2017

■ 百万 USドル
■ 世界の輸入におけるシェア (%)

■ 百万 USドル
■ 世界の輸出におけるシェア (%)

起業家精神

オランダは起業家の多い国として有名です。これは、およそ 12% のオランダ人労働者が自営であるという事実にも反映されています。今日に至るまで、政府は経済の活性化の方法としてスタートアップや、既存事業の競争力向上とイノベーションを奨励しています。

フィリップス、ユニリーバ、ASML、Booking.com など、多くの優れた多国籍企業がオランダで事業を始めています。G-Star や eBuddy など、オランダ発の多くの中小国際企業もあります。テストマーケット、オープンな文化、柔軟な消費者の存在のため、オランダにはクリエイティブな才能も多く、その証拠にグローバルイノベーション指標では第 2 位にランクされています。

優れた IT 環境

オランダは、強固なインフラ、レベルの高いセキュリティ、最先端の研究により、IT 分野でも革新的存在です。

オランダはインターネットトラフィックの主要ハブで、アムステルダム・インターネット・エクスチェンジを通る欧米ルートでトラフィックの約 3 分の 1 を占めます。専門知識センターの 1 つであるハーグ・セキュリティ・デルタは、国のサイバー・セキュリティへの配慮を反映しています。海外の投資家は、このようなオランダが提供できる有利な機会を利用しており、すべての直接投資プロジェクトの 4 分の 1 は IT に関連するものです。





活発なセクター

貿易国として、オランダは長い間、その起業家精神とイノベーションから恩恵を受けてきました。そのため、世界における 20 カ国の経済大国の 1 つとして成長することができました。経済的、社会的逆境の時期においても、この起業家精神が国を繁栄させてきました。グローバル市場における地位を維持するため、オランダ政府の政策は、経済をけん引すると考えられる 9 つの主要セクターに重点を置いています。

主要セクター：農業・食品、化学、クリエイティブ、エネルギー、ハイテクシステム&マテリアルズ (HTSM)、園芸・出発物質、ライフサイエンス&ヘルス、物流、水

政府、企業、研究機関及び市民社会団体は一体となり、イノベーションを推進し、継続的なイノベーションのための環境づくりに取り組んでいます。

連携の恩恵に加え、それらのセクターは最高の人材を生かした最高の商品とサービスにつながる相互作用からも利益を得ています。このようなアプローチによりセクターが強化され、国際化につながっています。

ミッションドリブン・イノベーション政策 2018 年

2018 年、閣僚は新しいミッションドリブン・イノベーション政策を発表しました。それは、トップセクターのアプローチによる既存の協力体制の上に構築されています。この新しいミッション・ドリブンイノベーション政策の中心には、次の 4 つの社会的課題があります：農業・水・食品、ヘルスケア、エネルギー転換及び持続可能性、安全性。オランダは、これらの分野におけるグローバルな課題についてソリューションを提供することを目標としています。

オランダ： 世界の経済大国 20 カ国の 1 つ

オランダのイノベーション・トップセクター9分野：



農業・食品



化学



クリエイティブ



エネルギー



ハイテクシステム・マテリアルズ (HTSM)



園芸・出発物質



ライフサイエンス&ヘルス



ロジスティクス



水

トップセクター：化学

すべてのサプライチェーンのなかで 2,000 以上の化学関連企業なかで、オランダは欧州の化学製品とサービスの供給でリーダー的な地位を占めています。

78 億ユーロ相当の輸出、そして国際的な化学企業上位 25 社のうち 19 社は業務の多くをオランダで行っています。

トップセクターである化学産業は、環境に優しい持続可能な化学産業へと移行するために重要な役割を担っています。その他の産業と同様、化学セクターでも原料の不足に直面しています。

現在は、重点的にエネルギー、ロジスティクス、食品、ヘルスケア業界で、環境に優しい持続可能な原料の（再）利用を促進しています。

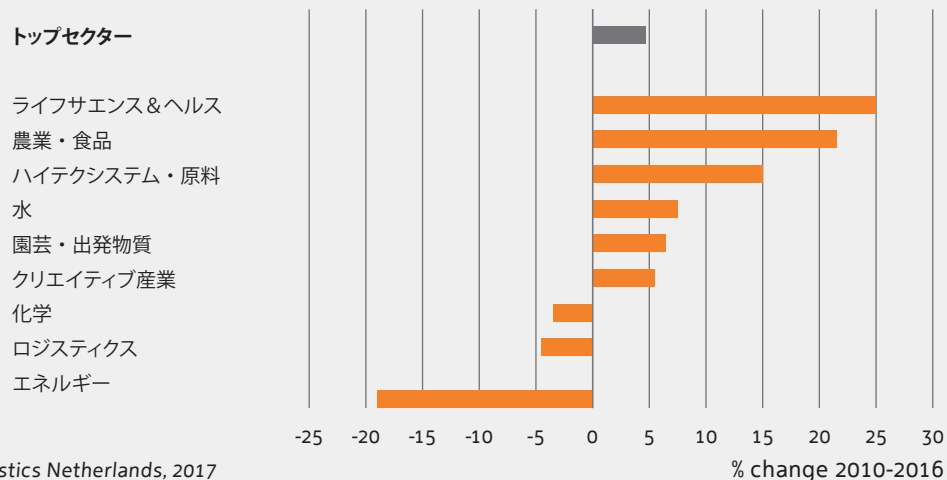
トップセクター：ライフサイエンス&ヘルス

オランダはライフサイエンス&ヘルスのクラスターが世界で最も集積した国の1つで、2,500社のライフサイエンス&ヘルス企業と研究機関、79の病院と12の研究大学があります。その優れた医療体制とインフラは、患者モニタリング、医用画像などにおける高度な技術的ノウハウによりさらに後押しされています。

トップセクターのライフサイエンス&ヘルスの主な特徴は、政府、学術機関、産業、患者組織間の密接な連携です。トップセクターは保健インフラばかりでなく、医療技術、バイオ医薬品、再生医療も対象としています。

その目標は、保健と生活の質を向上し、高齢化問題に対処し、ケアの提供を負担の少ない料金で容易に利用できるようにすることです。オランダ企業と大学は、国際的なバイオ医療、ヘルスケア分野で主要なイノベーションに貢献しています。2010年から2016年までの間、このセクターはほかのトップセクターをしのぎ、25%成長しました。ライフサイエンス&ヘルス・セクターの輸出合計は、毎年57億ユーロ以上です。

Development in value added by top sector, 2010-2016



トップセクター：ロジスティクス

国際貿易で長い歴史のあるオランダは、重要なグローバル経済の担い手です。持続可能性の重要性の増加に鑑み、トップセクターのロジスティクスは、国の主要空港（アムステルダム・スキポール）と港湾（ロッテルダム）を含めてアクセス性の向上を確保しつつ CO₂ 排出削減に重点を置いていかなければなりません。オランダの競争力のある地位を維持するために、このセクターも国際物流とサプライチェーン管理に重点をおいています。

ユルゲン・クウィク (Jurgen Kwik)

ヤンセン・ワクチン・プリベンション社 戦略営業リーダー

「オランダが当社の重要拠点の1つである理由は数多くあります。歴史的背景の面では、ヤンセンは当初、Centocor Biotech、後に Crucell 社の買収を通じてオランダに設立されました。両社はすでにライデンに拠点がありましたが、オランダでの存在を拡大し、当社がもつ能力を強化するため、特に研究開発と製造の面では近年積極的に投資をしてきました。

これには2つの理由があります：外部能力のある当社活動のコロケーションと、外部の専門性と人材の利用です。例えば、バイオサイエンス・パーク、医療センター、複数の大学、多くの多業種企業（CRO、CMO、バイオテック新興企業、当社のような企業）のコロケーションがあるアムステルダムーライデン間の近辺で構築された「ハブ」は、当社にとって非常に興味深い環境をつくっています。

当社はそのような環境の構築と参加の重要性を信じています。それは業界の持続可能なイノベーションを確実にするためには相互交流が急務だと感じるからです。」





業界の環境

業界の環境

オランダは広範囲に及ぶイノベーションを含む魅力的なビジネス環境を提供しています。オランダは、競争力があり安定した税制、魅力的な研究開発インセンティブ、優れた研究施設、トップランクの教育機関で知られており、結果として高い生産性のある高学歴で複数言語を話す労働力につながっています。

60

国際的なビジネス環境

オランダには非常に魅力的な国際的なビジネス環境があり、15,000以上の外国籍企業があります。そうした企業がオランダに拠点を置くことを決断した背景には、複数の要因があります。地元の労働力には高い生産力があり、強い労働倫理を持っています。さらに、オランダには数カ所の主要な（工科）大学と優れたビジネスインフラがあります。民間セクターは、政府、学術機関、その他の組織や機関とのオープンな関係を楽しんでおり、オランダに拠点を置く多くの企業は、この相互に透明性のある環境のおかげで成功していると考えています。



競争力のある税制

投資がしやすい法人所得税制によるところもあり、国際企業はオランダを魅力的な場所であると考えています。オランダには、税率 16.5 ~ 25% の競争力ある法人税率、イノベーションや研究開発に対する優れたインセンティブ、協力的な税務当局があります。オランダの税務は過去 30 年、OECD の基準を満たしてきました。これらのことが協力的な税務当局と安定的な政府と相まって、海外投資家にとり将来的な変化が大きな障害や不利益を生じさせることはないとのビジネスへの確信をもたらします。

投資に魅力的な法人税制

オランダの税制には、欧州に移転または業務拡大を考えている会社にとって、いくつかの魅力的な特徴があります。

- 株式保有に関するすべての利益に対し、オランダの法人税から 100% 免除される広範な資本参加免税。この施策は、二重課税を防止するためのものです。
- 税務当局による事前税務裁定と事前価格合意 (APA) これらにより、会社は将来における確実な課税状況を把握できます。
- 二重課税を防止するための 100 カ国以上の二国間租税条約があり、多くの企業は、配当及び利子・ロイヤリティーに対する低い源泉所得税 (後者は 0% であることが多い) を享受しています。
- 企業グループ内における税務連結を可能する効率的な税務連結体制度
- 25% と比較的低い法人税率
- 利子とロイヤリティーの支払いにかかる源泉所得税は課されません。
- OECD 移転価格ガイドラインに沿った移転価格制度
- 積極的で実務的な税関
- 輸入時の事前 VAT 支払いなし：VAT の実質的支払いなし
- 税務当局が税務調査官へのアクセスを許可
- 有資格、技能を有する外国人労働者への 30% 非課税措置
- 適格な研究開発にかかる賃金、その他関係する費用と投資 (WBSO) に対する研究開発税額控除
- 技術革新を奨励する「イノベーションボックス」、つまり適格な利益に対する 7% の実効法人税率
- 持続可能なエネルギー投資 (EIA) に対する税額控除プログラム
- 環境配慮型投資に対する税控除 (MIA/Vamil)

オランダ： 革新と研究開発のための優れたインセンティブ



62

研究開発のためのインセンティブ

オランダでは、研究開発を促進するため複数の施策が行われています。これらには、一般の法人税および特定研究開発の税制優遇策が含まれています。このようなイノベーションを奨励する研究開発への税施策は、研究開発費を抑えるだけでなく、企業の課税標準を低くします。

研究開発税額控除 (WBSO)

WBSO は、例えば技術的に新しい製品の開発と生産プロセスにかかる事業、およびバイオテクノロジー、物理学、化学、生産技術、IT テクノロジー分野の科学研究を行う事業を対象とした税額控除制度です。臨床試験もこの制度に含まれます。WBSO は賃金税の控除を提供し、研究開発に携わる企業のその他の費用を補います。個人事業主に対しても 12,980 ユーロの定額税控除の資格対象であり、新規個人事業主は 6,499 ユーロの追加控除を受けることができます。

会社は最初の研究開発にかかる賃金とその他の研究開発関連費用 350,000 ユーロに対して 32% (新規個人事業主については 40%)、350,000 ユーロを超える費用の 16% の控除を受ける資格があります。公的学術機関はこの制度に含まれません。

イノベーションボックス

イノベーションボックスのもと、会社は特許取得済、未取得の無形資産からの研究開発による利益に対し 7% の実行税率という優遇を受けられます。これには、研究開発税額控除を受けたオランダの納税企業でつくる技術革新が含まれます。

通常の法人税率は 16.5% ~ 25% です。企業によるイノベーションボックスの申請は任意で、配分される収入レベルは制限されています。つまり、研究開発活動の外部委託が増加すると、これらの活動による無形資産に配分される利益がより減少することになります。SME には定額の規定があり、各年に 25,000 ユーロを上限としてイノベーションボックスに利益の 25% を適用するかどうかを決定します。

法人税の納税者は、税申告の際により低い 7% を申告します。実際、低い税率というのはイノベーションボックスに割り当てられた利益の 72% が免税となることで、約 7% という実行税率を適用できるからです。

実効税率は、発生したすべての開発費と損失を超える利益に適用されます。そのような損失や費用は、標準法人税率 25% から控除可能です。



革新志向のスキーム

イノベーション・クレジット

オランダ経済・気候政策省は、企業が製品の（技術）開発段階や「技術的に新しい」と考えられるプロセスまたはサービスで利用できる「リスクを伴う事業への融資」としてイノベーション・クレジットを実施しています。臨床研究を必要とする医療製品の開発にも適用される融資は、企業の規模により25%から45%と異なります。（大企業25%、中企業35%、小企業45%）これは、最低150,000ユーロのプロジェクト規模で、臨床開発プロジェクトで500万ユーロ、技術開発プロジェクトで1,000万ユーロを上限として融資を受けられます。それを超える費用については、企業自体の財源より調達しなければなりません。

企業は、決済日から10年以内に融資の払い戻しをしなければなりません。プロジェクトが技術的理由で失敗した場合、または商用環境に変更がある場合は、この条件を適用除外できる場合があります。開発段階では一般的に、技術開発プロジェクトは7%、臨床開発プロジェクトは10%の利息が融資に加算されます。事業者は、自身のプロジェクトに資金調達するための十分な財源がない場合のみ、クレジットを申請することができます。活動の拠点がオランダにあるSMEと大企業の両者がプロジェクトのための融資に申し込むことができます。それには最大4年間の期限を設ける必要があります。申請者には体系的な開発方法と詳細なプロジェクト計画がなければなりません。

官民連携（PPP）手当

トップセクターのライフサイエンス&ヘルスは、オランダのLSHセクターにおけるPPPにより実施される革新的研究を支援します。研究組織、保健財団や企業（スタートアップ、SME、産業界）などのステークホルダーは、画期的なイノベーションをおこす研究開発に対して共同で投資することができ、よって世界中の医療課題へのソリューションを探すために主要な役割を担う堅固で持続可能なLSHセクターに貢献することができます。

PPP手当を通して、トップセクターは研究組織、学術機関、企業、保健財団のようなステークホルダーに革新的考え方を実現するための財政ツールを提供します。企業と研究機関の両者が研究開発プロジェクトの費用とリスクを共同で負うため、現金および／またはそれに代わるもので相当な貢献をすることを条件に、連携に対してPPP手当を申請する機会が年2回与えられ、研究開発費の75%までの資金が受け取れます。トップセクターのライフサイエンス&ヘルス「Health ~ Holland」は、民間のパートナーが投資した1ユーロからオランダ政府によるものも30セントまですべてを一致させます。トップセクターのLSHは、PPP手当を利用し、バイオフィーマの分野で現在27のプロジェクトに資金提供しています。大規模な遺伝子連鎖によるALSの遺伝学的基礎の解明が、現在PPP手当が融資するプロジェクトの1つです。

MITスキーム

MITスキーム（SME革新奨励）は、SMEの起業家にトップセクター関連の革新的研究開発活動のための追加資金を受けられる機会を提供します。その資金投資は、一部国および地域の手段ですが、ナレッジ・バウチャー、イノベーションコンサルタントプロジェクト、実現可能プロジェクト、研究開発共同ベンチャーなど、いくつかの方法で使用することができます。

ナレッジ・バウチャー：SMEの起業家は専門のセンターにナレッジ・バウチャーを提示し、研究の疑問に対して科学的質問をすることができます。

イノベーションコンサルタントプロジェクト：専門機関または独立コンサルタントより研究の疑問に対する回答や助言を依頼するなどイノベーションに関わるアドバイスや提言を得ることができます。

実現可能プロジェクト：提案されたイノベーションプロジェクトの潜在的な技術・財政リスクを特定することができます。

研究開発共同ベンチャー：製品、生産プロセスまたはサービスの革新・開発を行うにあたり、少なくとも異なる中小企業の起業家1社との協業が必要です。



持続可能性志向のスキーム

MIA、Vamil スキーム（環境配慮型投資控除、任意償却環境配慮型投資）

オランダは、MIA、Vamil スキームを含む、持続可能なエネルギーと環境配慮型投資にも税金控除プログラムを提供しています。オランダの所得税または法人税を納税する起業家が申請でき、通常は2つのスキームを組み合わせたことができます。MIA スキームのもと、彼らは環境配慮型投資の最大36%を課税対象となる利益から控除することができます。しかしながら、投資対象は環境リストに含まれている必要があります。約270の投資対象を記載するこのリストは毎年更新され、オランダ企業庁 (<https://english.rvo.nl/>) MIA/Vamil のサイトに掲載されています。(オランダ語のみ)。2020年の最小投資額は2,500ユーロで、最大額は2,500万ユーロです。

環境リストに関する投資支出の75%をいつ一括償却するかを決定できるため、Vamil スキームは起業家に流動資産と利息上の優遇を提供します。残りの25%には、通常の減価償却手順を適用できます。この措置は、製造工場の建設/運営に投資する企業に環境も配慮した方法で投資するよう促します。これらは特に、海運、農業、産業セクターのビジネスに有益です。

EIA、SDE+ スキーム（エネルギー投資手当、持続可能なエネルギー生産措置）

エネルギー投資控除（EIA）のもと、オランダ政府はエネルギー削減設置に投資または持続可能なエネルギーを利用する企業に45%の控除を与えます。この措置は、製造工場の建設/運営に投資する企業に環境も配慮した方法で投資するよう促します。投資額合計から計算するこの控除は、通常の減価償却の最初に来るもので、商品が購入された年度の課税利益から控除されます。この控除は、新しい固定資産の購入後3ヵ月以内に適用され、エネルギーリストに含まれなければなりません。

その資産に対する投資は、業務交付金を除き費用から減額されなければなりません。2020年現在、最小投資額は2,500ユーロでなくてはならず、控除は最大1億2,400万ユーロの投資に適用されます。資産を運用するためのエネルギー関連アドバイスや追加費用も控除に含めることができます。平均して、EIAは11%の税優遇措置を提供します。

持続可能なエネルギー生産措置（SDE+）のもと、持続可能な電力と熱、持続可能な熱と電力の組み合わせ（CHP）、またはグリーンガスの生産者は、生成した再生可能エネルギーの補償を受けます。このスキームは、オランダでのプロジェクトが実現した企業、機関、非営利組織が対象であり、民間の再生エネルギー生産会社自体が対象となるわけではありません。

バイオマスを使用して生成されたエネルギーは、持続可能性の基準に合致させるよう管理されます。再生可能エネルギーの生産は、生成の費用が市場価格を上回ることがあるため、利益が出ない可能性があります。この収益性の低い要素は、関連する技術に応じて、一定期間SDE+のもと補償されます。

オランダは
持続可能なエネルギーに対する
税控除プログラムを提供しています。



さらなる財政支援

政府のその他のインセンティブ

オランダ政府はその他の複数のインセンティブ措置を企業に提供しています。一例は、コーポレート・ファイナンス保証措置（GO）です。この措置は、資金提供者が多額の融資を受けたい中小企業（SME）を応援するため、50%の政府保証を受けられるものです。SME に向けた成長設備措置があり、政府はこれらの起業家にベンチャーキャピタルを提供する資本家に50%を保証します。さらに、労働関係費措置により、被雇用者は年間課税賃金の1.2%相当の手当に免税予算を受けることができます。雇用者には、決まった職場の通勤費用を対象とした通勤免除措置があります。

インベスト NL

2017年、オランダ政府は新しいインセンティブである「インベスト NL」を発表しました。このスキームの目的は、オランダにおける投資を促進することです。2020年、インベスト NL は資金調達に苦しむ企業を支援することを目的とした、17億ユーロの資本をもつ開発資金提供機関になります。これは、リスクとリターンの関係について不確実性があるためか、投資収益率が長く不確実であるためです。インベスト NL は、リスク資金で起業家に支援を提供し、輸出信用保険と国際資金提供プログラムを保証します。さらに、インベスト NL はオランダ国内外で大規模な社会的プロジェクトを展開し、必要な場合は共同出資を行います。

研究開発の公的資金

オランダ政府は、研究開発にかかる国内年間費用の約3分の1を賄っています。研究開発が公的資金を受けるには複数の方法があります。一般的に、基本的な資金調達は大学と機関で自ら資金割り当てできます。利用可能なプロジェクトまたはプログラムによる資金調達もあります。ここでは、資金は特定の時間、予算、内容に応じて提供されます。ほとんどの場合、競合する要素もあります。保健研究には、オランダ保健研究開発機構（ZonMW）などが資金提供をします。この組織は、該当する研究が生む知識の実用化も促進します。

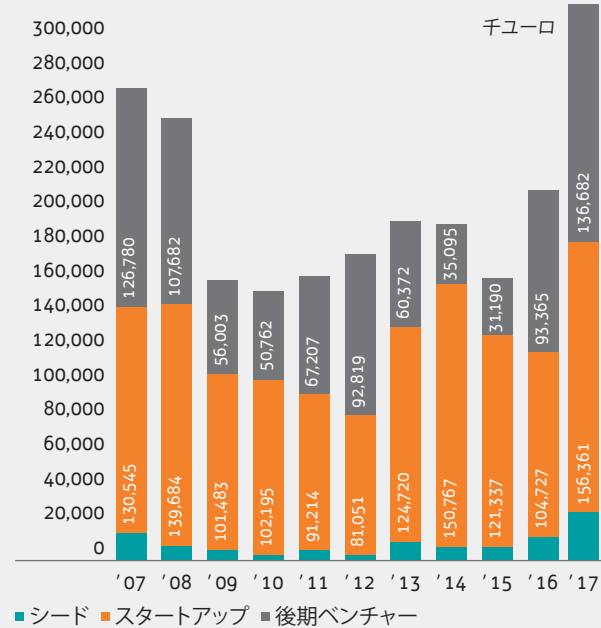
近年、国立科学アジェンダが2016年に策定されたオランダの科学政策を後押ししました。アジェンダの目的は、オランダ社会から生じる問題に対し、EU ホライズン 2020 プログラムなどの既存の研究アジェンダをつなぐことでした。

国家科学アジェンダは将来の大学、機関での研究プログラムにとって重要な要素になると期待されています。保健アジェンダをさらに進展させつつ、新しい医療介入（医薬品を含む）の臨床効果試験の代替方法も個人患者レベルの結果測定研究と同様、調査を受けるようになります。カスタマイズ医療・再生医療などの新しい考え方も注目されるでしょう。

ベンチャーキャピタルと未公開株

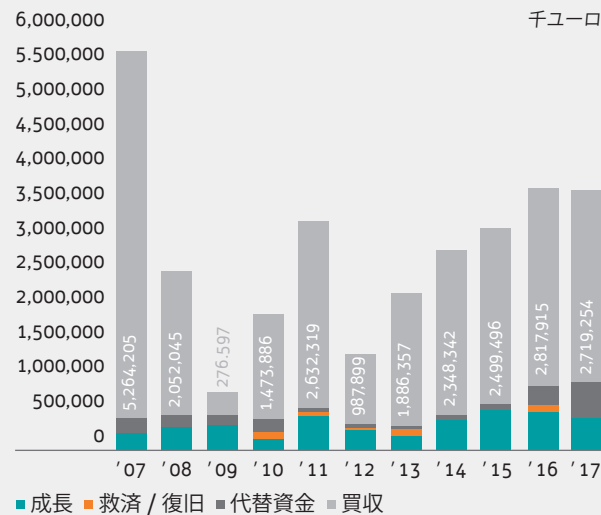
オランダは非常に魅力的な税制やインセンティブ制度があるだけでなく、国の革新的な起業家に投資するベンチャーキャピタル企業が多数存在しています。2017年には411社に合計40億ユーロが投資されました。これらの資金投資は、急成長するスタートアップ企業へのベンチャーキャピタル投資、成熟企業への投資を含みます。オランダのベンチャーキャピタルの多くは、ライフサイエンスとIT企業に注目しています。

Venture capital investments (2017)



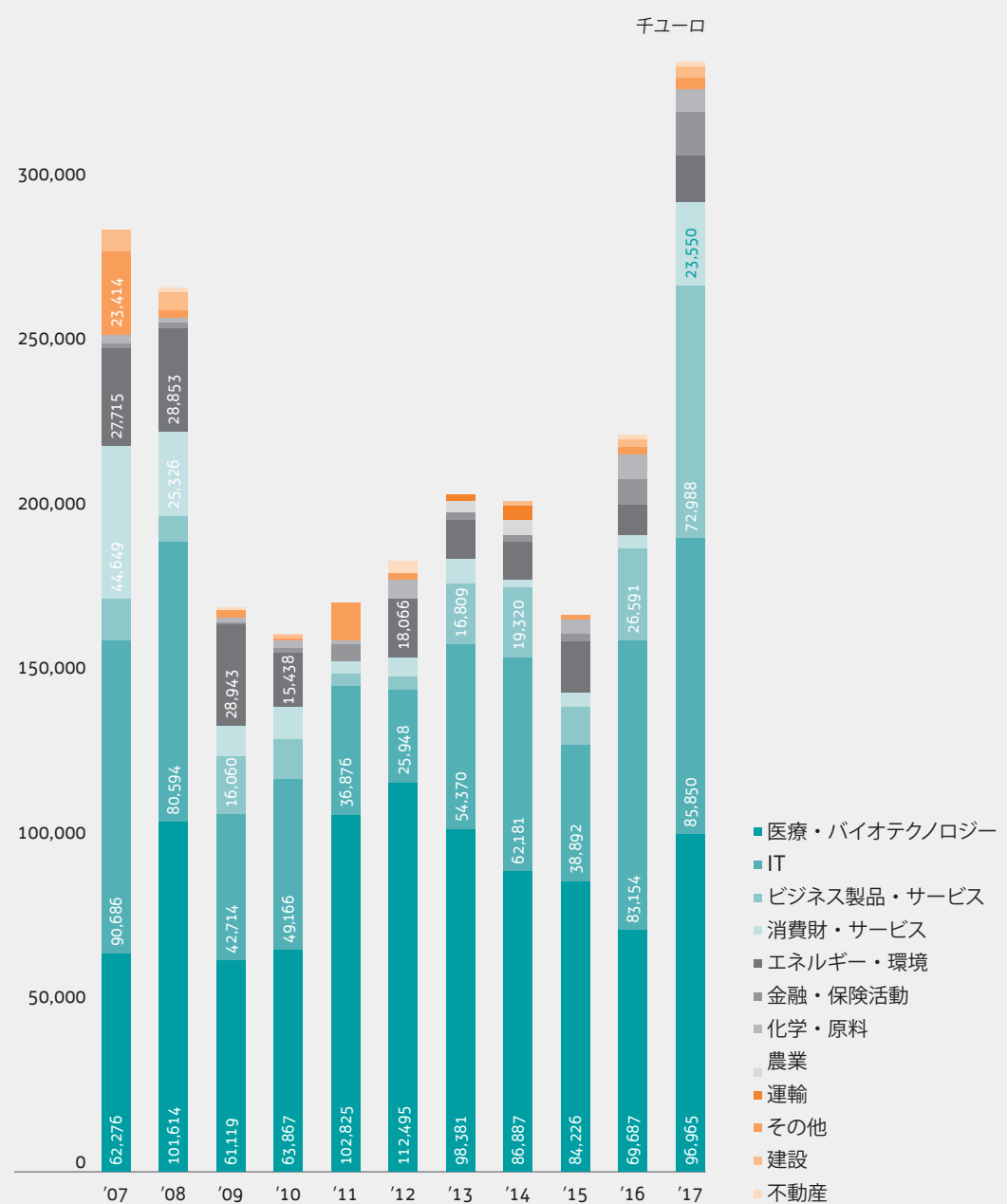
出典: Nederlandse Vereniging van Participatiemaatschappijen (NVP)

Private equity investments (2017)



出典: Nederlandse Vereniging van Participatiemaatschappijen (NVP)

Venture capital investments by sector (2017)



出典: Nederlandse Vereniging van Participatiemaatschappijen (NVP)

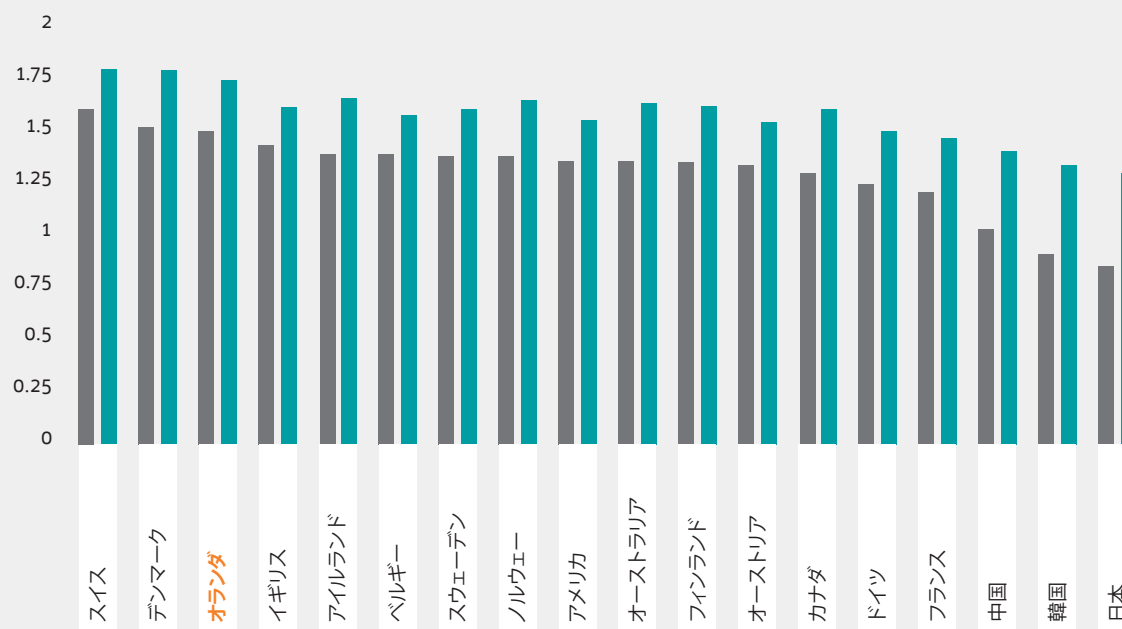
人的資本

オランダは、高い資格をもつ労働力と国の強力な教育制度により、多国籍の企業に非常に魅力的な国です。

ワールドクラスの教育制度


オランダには高い知識と能力を持つ多くの大卒者を育てるための優秀な高等教育システムがあります。国内に14の大学、そのうち13大学は国際的にランク入りしています。(QS世界大学ランキング、2018年) また、37の応用科学大学、その他多くの研修機関があります。2018年、オランダはQS高等教育システム力で7位、2019年Universitas21高等教育システムの主なランキングで10位に入りました。また、オランダの大学は、ビジネスとのかかわりにおいて高いスコアを獲得し、オランダは世界の上位2位にランク入りしています。

Citation Impact Score 2012-2015



■ すべての出版物 ■ 国際的共同出版

出典：OCW, 2018年



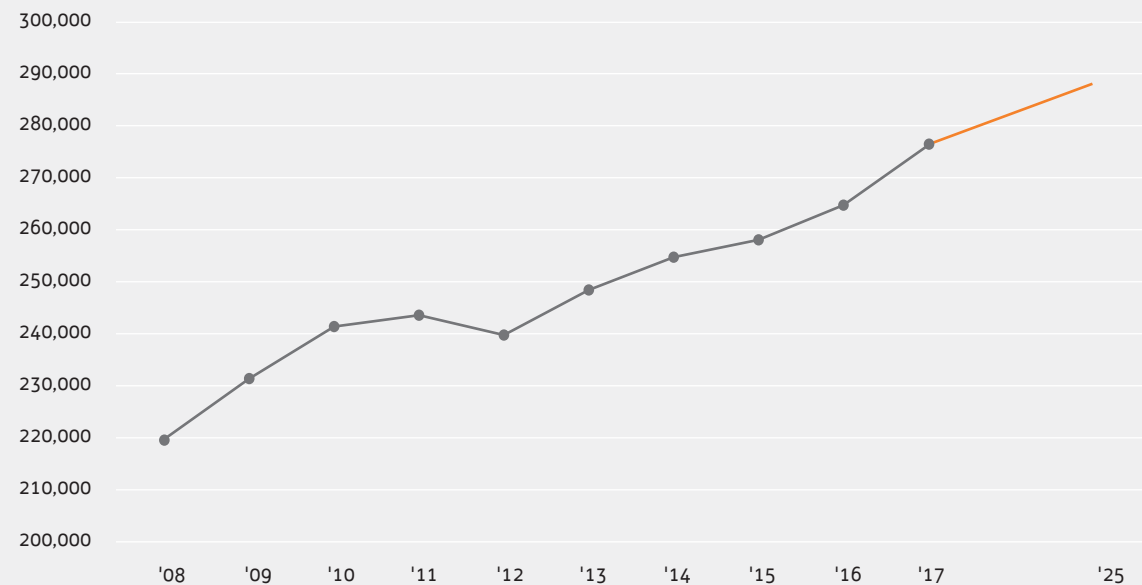
「Amgen にとって、安定的な社会経済状況、高い能力のある労働力、オランダと世界をつなぐ優秀なインフラがきわめて重要です。これにより、当社の医薬品は世界 75 カ国に届いています。そのため、当社の目標は、現実と当社のミッションである「患者の役に立つこと」に沿って常に当社製品が患者治療のために適切な場所で適切な時に入手可能にすることです。」

ヤン・ボーマン (Jan Bouman), Amgen 社・Breda 現場運営常任理事

オランダの教育制度は、優れた人的資本のプールを生成しており、(科学) 大学に在籍する学生の数は近年急激に増えています。2017年には、276,713人の生徒が学士または修士課程に入学し、33,000人以上が保健学科、41,000人以上が技術研究学科に入学しました。さらに、2017～2018年度には453,000人が高等職業教育課程に通学しました。もう1つオランダの学術的優秀度を反映するものは、PhD 卒業生数の多さで、過去25年間で倍増し、2016～2017年度には4,747人以上に達しました。

Registered university students

年度



出典：VSNU/CBS, 1cHO2017; Prognosis 2025; Reference Forecast 2016, OCW

オランダ：研究成果で世界をリード

学術機関

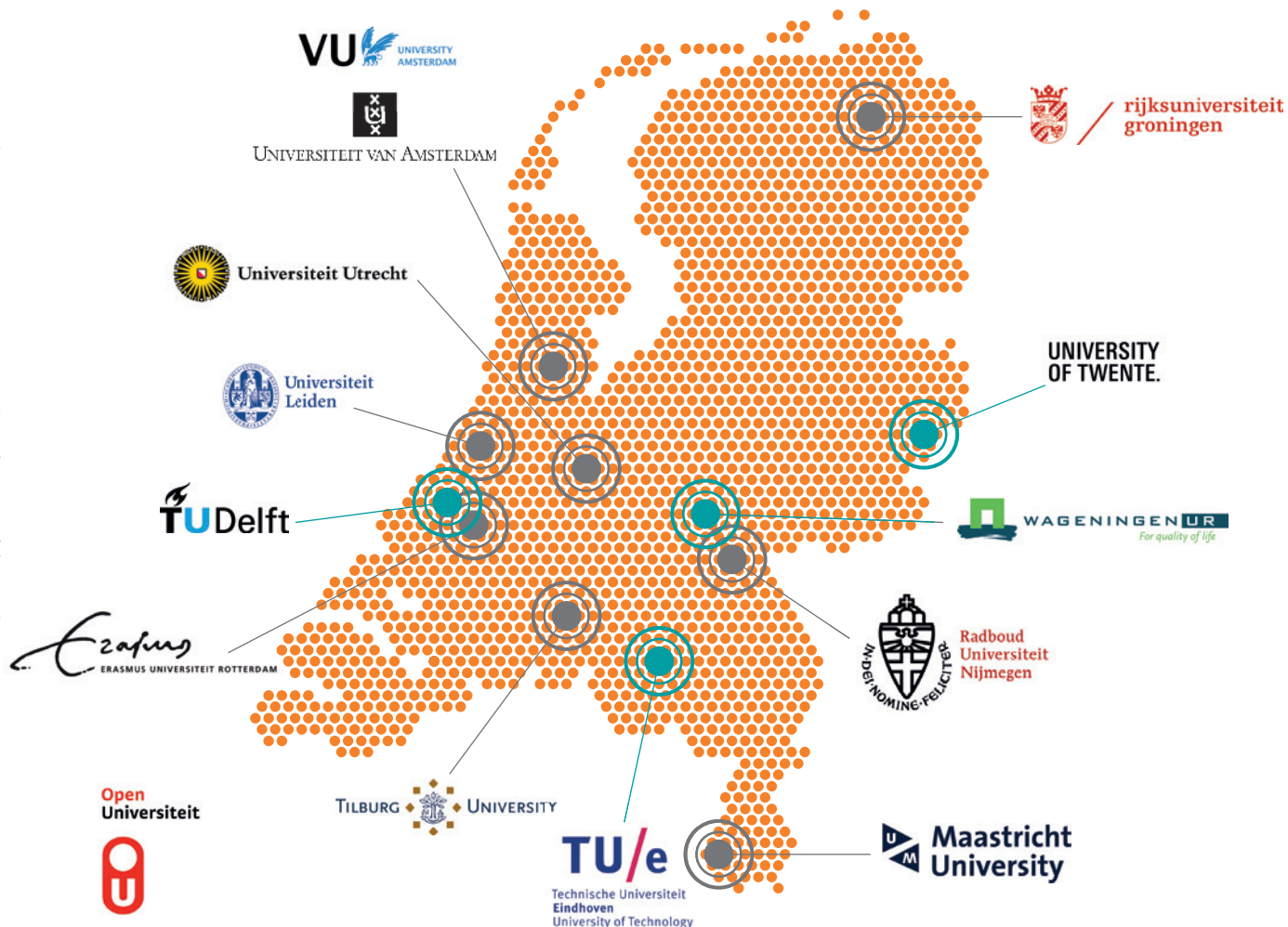
◎ 大学

オランダには 12 の研究大学と 4 つの技術工学専門大学を含む 14 大学と 7 つの大学医療センターがあります。また、応用科学の分野では 37 大学あります。

◎ 工科大学

オランダには 4 つの工科大学があり、そのうち 3 大学は産業界と連携する世界最高の 300 大学のうち、上位 10 位にランクインしています。高品質の教育機会だけでなく、知識労働者にとって優れた職業の機会があります。

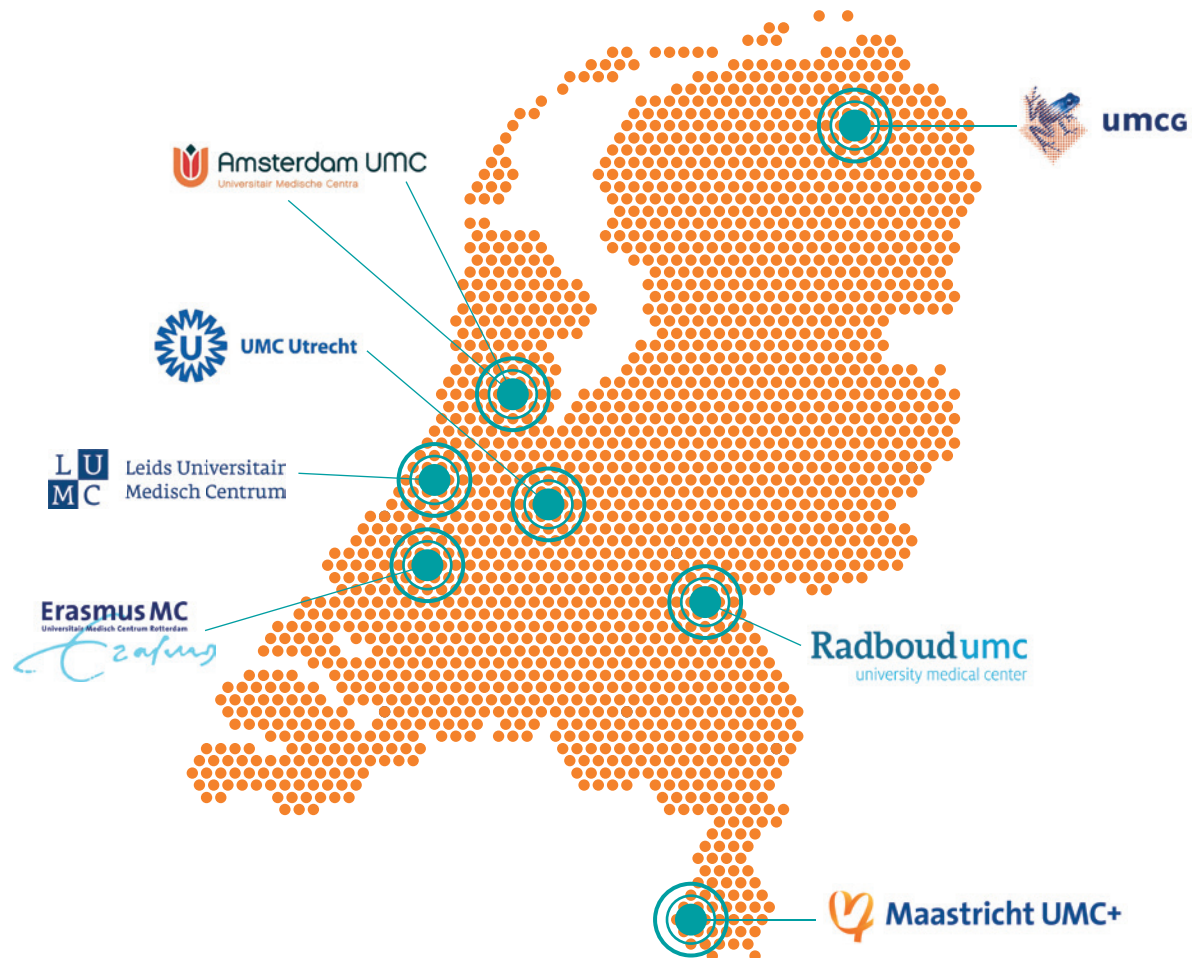
さらに、オランダは科学と工学の分野で世界有数の研究成果をあげています。オランダは、技術と革新の分野および協働と技術協力における研究開発に関する最大の科学的影響を及ぼした上位 3 国に入っています。



◎ 大学医療センター

オランダは7つの大学医療センター（UMC）が立地しており、そのすべてが通常の病院より広い範囲の責任を持っています。希少疾患や複合疾患のある患者は、一般的に UMC を勧められます。また、UMC は教育機関、研究センターとしても機能しています。

UMC は医療分野の学生に学士・修士課程、特定の医療分野を専門とする医師への研修、基礎、応用看護過程を提供しています。





ライデン大学医療センター

高い生産性と多言語を話す労働力

オランダは高い教育を受け意欲のある、多言語を話す労働力を持ち、生産性はほとんどの欧州諸国を上回っています。また、高学歴の志願者が多く、海外の事業のやり方を受け入れることでも高く評価されています。

オランダ人の90%は英語が流暢だけでなく、多くは多言語を話し、オランダはEF英語検定指標で80カ国のうち1位にランクしています。人口の大部分はドイツ語とフランス語も話します。また、ほかのEU加盟国と比べ、生涯学習は一般化しています。

オランダ人は実用主義として知られており、それはビジネス界にも及んでいます。そのため、ほかの欧州諸国に比べ、労働争議は比較的起こりにくい状況です。確かな雇用者対従業員の関係も高い労働生産性を促進しています。

ファーストラック許可

オランダの移民法は、企業が国際的で優秀な人材を惹きつけるためにも役立ちます。高い能力をもつ移民（いわゆる知識労働者）に対する国のファーストラック許可制度により、雇用主はEU以外からの従業員に通常の労働許可を申請するよう要請することはありません。そのような知識労働者とその家族は、暫定的居住許可（MVV）および／または居住許可のみが必要です。専門の知的労働者向けに特別な税決定があり、彼らは雇用契約を結ばなければなりません。

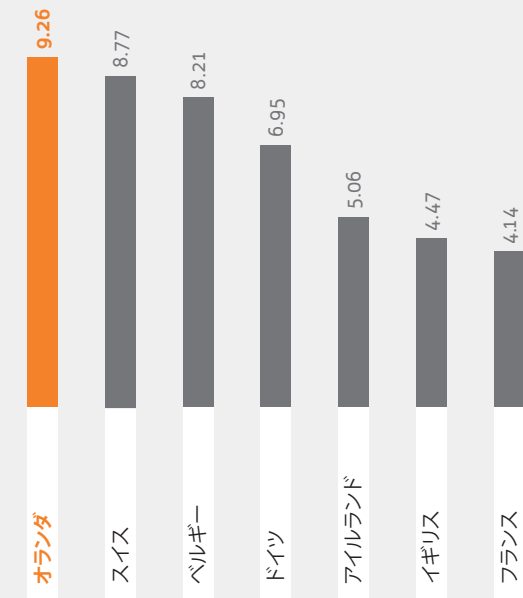
高い能力を持つ知識労働者としての資格を得るために必要な月間収入（2020年）は、最低総額4,612ユーロ（30歳未満は3,381ユーロ）です。給与はセクターにおける他の同様の職業に比べ、妥当と考えられなければなりません。

しかしながら、この条件は教育、研究機関の従業員または専門家になるために研修を受ける科学研究者や医師には当てはまりません。さらに、25%以上の企業の株を個人で所有するステークホルダー／従業員は自営業とみなされるため、この許可制度に含まれていません。

短期滞在スキーム

高い能力を持つ移民を対象とする短期滞在制度は、このような個人が短期プロジェクトまたはコンサルティングあるいは研修を行う間、最大90日間オランダで働くことを許可します。雇用者はまず公認スポンサーとして認定を受けなければならず、労働許可を申請する必要があります。それにもかかわらず、プロセスはほかの移民より容易で、被用者保険庁（UWV）は2週間以内に許可証を発行します（通常は5週間）。また、官僚の関与は少なく、労働市場試験または欠員の合法性の検証に対する条件はありません。月間収入総額の条件は緊急発行許可制度と同じであり、雇用者は給与支払いの証明を提出しなければなりません。

Language skills



出典：IMD World Talent Ranking, 2017

30%非課税措置

オランダは多国籍企業と投資家だけでなく、いわゆる 30%非課税措置という特別な税制で外国人赴任者にも魅力があります。この決定では、雇用者は外国人労働者に給与税の対象となる給与総額の最大 30%の非課税措置を 60 ヶ月まで与えることができます。海外駐在に関わる追加の費用負担を軽減する目的であるこの措置は、ボーナスの支払いや自社株購入権が含まれますが、年金の支払いには適用されません。従業員は雇用の開始前の 2 年間のうち 3 分の 2 以上、オランダから 150km 以上離れた場所に居住していることが条件です。このルールは 5 年間適用されます。外国人赴任者が以前オランダで居住または労働をしていた場合は、この 5 年という期間は縮小される場合があります。給与総額は最低 38,347 ユーロまたは大卒 30 歳未満は 29,149 ユーロです（最低給与額は、科学研究者、研修医、または科学教育分野の従業員には適用されません）。この決定により、雇用契約には従業員の収入の課税、非課税対象額の詳細を記載する必要があります。



フローニンゲン大学

ダニエル・デ・ブア (Daniel de Boer)

ProQR 社 最高経営責任者

「ライデンは ProQR の成長と拡大にとって理想的な場所です。私たちの業界の企業の多くが近隣に立地していることは、健全な才能のプールがあり、その結果、当社は豊富な経験のある人材を地元の労働市場で探すことができました。

地域連携はとても重要です。当社のすぐ目の前に質の高い科学を生み出す優れた大学があります。

それに加え、オランダの金融情勢は非常に有利だと思います。政府はあらゆる種類の支援プログラムを通じてこの業界の革新と雇用創出を促進しています。重要なことは、オランダにおける当社の運用費は米国のホットスポットにある同事業のおよそ半分から 3 分の 1 です。生活費もかなり低く、これが当社のような企業の運営費も削減しています。

大西洋の両側にある規制機関との関係はこの業界の企業にとって重要です。EMA の近くに拠点を置くことで、より頻繁な交流の機会が与えられます。交流を実現するための障壁が低いことは、非常に貴重です。」



インベスト・イン・オランダ・ネットワーク

常に頼れる力強いチーム

インベスト・イン・オランダ・ネットワークは、オランダ経済・気候政策省企業誘致局、地域経済開発機構、複数の大都市による連携チームです。このネットワークは、オランダですでに活動している既存の外国投資家のみならず、新規の外国投資家に継続したサービスを部外秘・無償で提供しています。人材雇用から強力な官民連携の紹介まで、すべてを支援するため、当ネットワークの適切なパートナーをご紹介します。

インベスト・イン・オランダ・ネットワークが提供するサービスは、100%部外秘で完全に無償です。

インベスト・イン・オランダ・ネットワークのパートナー：

- ・オランダ経済・気候政策省企業誘致局 (NFIA)
- ・amsterdam inbusiness (aib)
- ・Brabant Development Agency (BOM)
- ・East Netherlands Development Agency (Oost NL)
- ・Holland International Distribution Council (HIDC)
- ・Horizon Invest in Flevoland
- ・InnovationQuarter
- ・Invest in Zeeland
- ・Limburg Development and Investment Company (LIOF)
- ・NOM Foreign Direct Investment
- ・Rotterdam Partners
- ・The Development Agency Noord-Holland Noord (NHN)
- ・The Hague Business Agency
- ・Utrecht Region

80

カスタムメイドな情報と実用的ソリューション

私共は、貴社の本国から始まり、会社の設立、事業展開、またオランダでの業務拡大のすべての段階を支援します。私共は視察プログラムの調整、関係パートナーとの面談運営、税務、政府、許可手順、立地の選択肢、ビジネスソリューションに関して個別のガイダンスや助言を提供します。

用地の選択、設立／拡大プロセスを支援するため、私共は次のことを行います。

- ・オランダに関連する事業の立地、オランダの法律および税制、労働問題、許認可手続き、政府のインセンティブ、その他多くの項目に関する最新のカスタマイズされた情報を事前の個人面談で提供します。
- ・インベスト・イン・オランダ・ネットワークと密に協力し、カスタム・メイドな視察プログラムを計画します。これは関連事業パートナー、政府機関、様々なオランダネットワーク、サービス提供者、その他投資プロセスで関連のある連絡先の紹介を含みます。
- ・オランダで拠点設立を簡素化し最適化する具体的なソリューションの提示
- ・農業／食品、化学、IT、ハイテクシステムズ、ライフサイエンス&ヘルス、その他セクターの専門家による個別支援の提供

連絡先：

私共のサービスについての詳細は、japan.investinholland.com でご参照ください。

奥付

この冊子には、外国のバイオ医薬品企業をオランダに誘致するための総合的な概要を記載しています。この出版物に記載されている情報は、PharmInvestHolland のパートナーにより細心の注意を払ってまとめられ、作成時点の情報を最大限に反映したものです。

PharmInvestHolland は、以下に重点を置く官民イニシアティブです。

- オランダのバイオ医薬品企業の事業、研究開発環境を強化
- 患者の医薬品利用の早期化

PharmInvestHolland は以下の組織で運営されています：

- 米国商工会議所
- Dutch Association Innovative Medicines
- Health ~ Holland (<https://www.health-holland.com/>)
- HollandBIO
- Lygature
- オランダ経済・気候政策省
- オランダ経済・気候政策省企業誘致局 (<https://japan.investinholland.com/>)
- VNO-NCW

オランダのライフサイエンス企業の可能性に関する詳細は、インベスト・イン・オランダまたは Health ~ Holland のホームページをご覧ください。

編集 Association Innovative Medicines シャンナ・フェルディナンドス／ドン・マクドナルド、I.D イメージ・ディベロップメント
デザイン Jacob & Jacobus
Print Drukwerkstudio.nl

© 2018 年 10 月 PharmInvestHolland



welkom in
Nederland

welcome
willkommen
bienvenue

N 233

Keep right
Rechts aanhouden